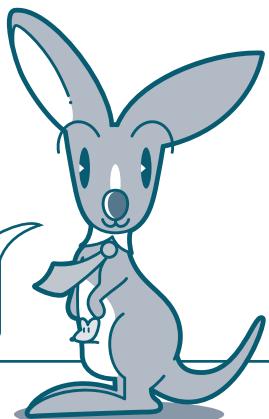


かるがるできるシリーズ

かるがる顧客5.5 顧客管理+宛名印刷

操作マニュアル

お問い合わせの際はユーザー登録時の
お電話番号をご用意ください。



BSLユーザーサポートセンター

TEL : 03-3352-6241
FAX : 03-5362-7860
URL : www.bsl-jp.com
E-mail : karugaru@bsl-jp.com

月曜日～金曜日
10:00～12:00 / 13:30～16:30
土・日・祝祭日を除く
(FAX・E-mailは翌営業日以内に回答をご案内
いたします)

※サポートセンターではソフトの操作方法に関するお問い合わせのみを受け付けております。会計処理や税務処理、社会保険処理等に関する
ご質問は、ご依頼の税理士・社会保険労務士や最寄りの税務署・年金事務所などの各専門機関へご相談下さい。

ご注意ください！ シリアルナンバーの再発行は有料となります。

本マニュアル裏面には、シリアルナンバーが添付されています。セットアップ、ユーザー登録、サポートサービスに必要となりますので大切に保管してください。

重要 - 製品をお使いになる前に必ずご覧ください

製品使用許諾契約書

お客様が入手された、株式会社BSLシステム研究所(以下BSL)の本ソフトウェア製品(以下本製品)について、下記のライセンス規定及び品質保証規定が適用されます。

本ソフトウェア製品を使用することにより、本契約書の条項に同意したものとみなし、以後返品はお受けいたしません。(CD-ROM 包装を開封した時点で使用とみなされます)この契約に同意されない場合は、未使用的製品を直ちに購入店にご返品ください。

ライセンス規定

本製品はBSLが著作権を持つ当社の所有物であり、日本国著作権法をはじめ、その他の無体財産権に関する法律によって保護されています。本製品は使用を許諾されるもので、所有権を伴うものではありません。

本製品の後継製品、更新プログラム又は機能追加プログラム等が出荷されそれをお客様に提供した場合、その後継製品等に明示されていない限り本契約がその後継製品等にも適用されます。

1. 使用許諾範囲

お客様は自己で使用するために製品に記載された「製品シリアルナンバー」の番号1件につき、コンピュータ1台に複製(インストール)してご使用になることができます。

またお客様自身が占有して使用し、かつ1台目のコンピュータと同時に使用することの無い2台目のコンピュータ1台に限り、2つ目の複製(インストール)を使用することを許可します。

お客様は本契約に従い、本製品を実行用プログラムとしてコンピュータに複製(インストール)し、使用することができます。また不慮の事故に備える目的で、本製品の複製(バックアップ)を作成することができます。これらの場合を除き、その目的の如何を問わず複製物を作成することを禁止します。

2. 禁止事項

本製品は適用される法律に明示に許可されている場合を除き、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルすることはできません。

本製品に組み込まれている不正コピー・不正利用を防止するための技術を回避する行為、又は回避して製品を複製する行為を禁止します。また本製品の一部あるいは全てを用いて二次成果物を作成することを禁止します。

3. レンタルおよび譲渡

本製品は単体でレンタル及びリースすることはできません。しかし一切のコピーを残すことなく特定のコンピュータと共にリース物件として提供する場合は、この限りではありません。

一度使用した本製品を譲渡又は転売若しくは再販することはできません。

4. 有効期間

本契約による使用許諾は、お客様が本製品の CD-ROM 包装を開封した時点から効力を生じます。

以下のいずれかの事由に該当する場合、本契約書の契約は終了効力を失います。

お客様が本製品の使用を停止した場合。

当社が将来本製品の取扱を中止し使用許諾の停止を告知後30日が経過した場合。

お客様が本契約書の条項に違反した場合、又はBSLの著作権を侵害した場合。

本契約の終了後は本製品をいかなる形においても使用することはできません。終了後お客様はBSLの求めに応じ、製品を破棄又はBSLへ返却しなければなりません。

5. シリアル番号および識別情報の通知

本製品をインターネットに接続されたコンピュータで使用する場合、製品の付帯サービスを提供するために、「製品シリアルナンバー」および製品の識別情報が BSL へ送信されることがあります。お客様は、この動作に同意するものといたします。

品質保証規定

1. BSLは本製品が付属の製品マニュアルに従って実質的に動作しない場合又は本製品の媒体又はマニュアルに物理的な欠陥や不足があった場合、お買い上げ後60日に限りBSLの判断に基づき交換又は補修のいずれかにより対応するものといたします。ただし本製品に再配布可能なファイル(ランタイムモジュール、再配布可能モジュールなど)が含まれている場合、それらは現状のままで提供され一切の保証をいたしません。

2. 上記1項のいずれの対応も、お客様が本製品の購入されたことを証明する書類(領収証等)をBSLに提示した場合にのみ提供されます。

3. 上記1項の事態が火災や地震などの自然災害、第三者による行為やその他の事故、お客様の過失あるいは故意にかかわらず誤用等による、BSLの責に帰さない理由により生じた場合、BSLは保証の責を負わないものとします。

4. 交換又は補修後の保証期間は元の保証期間の満了日もしくは交換・補修後30日間の満了日のいずれか遅く到来する日までといたします。

5. BSLは本製品、本製品の媒体又はマニュアル、その他の印刷物、また本製品に付随して提供されるサービスについて、その商品性及び特定の目的に対する適合性など本保証規定に規定されていないその他の保証は、明示・暗示を問わず一切いたしません。

6. 本製品を使用することによりお客様の期待した効果が得られなかった場合や、原因の種類を問わざいかなる場合においても、BSLはこの製品の使用又は使用不能から生じる本保証規定に規定されていないいかなる損害(事業利益の損失、事業の中断、情報の損失、その他金銭的の損失など)に関して、一切の責任を負わないものといたします。たとえBSLがそのような損害の危険性について知らされていた場合でも同様です。本製品の使用または機能から生じるすべての結果は、お客様自身が負担するものといたします。

7. 本規定に基づくBSLの責任は本製品に対しお客様が実際に支払った金額を上限とします。

8. 本品質保証規定は、日本国内においてのみ有効です。

重要 - 製品をお使いになる前に必ずご覧ください

個人情報保護方針 (プライバシーポリシー)について

はじめに

株式会社ビーエスエルシステム研究所(以下「BSL」という)は、お客様への製品やサービスの提供において取り扱うお客様の個人情報(法人情報を含む。以下「個人情報」という)を、適切に管理・保護することが社会的責務であると考えています。BSLでは、お客様に安心してBSLの製品やサービスをご利用いただけるようにするために、ここに個人情報の保護方針(プライバシーポリシー)を記載いたします。

個人情報の定義

本方針の「個人情報」とは、氏名(法人名を含む)・住所・電話番号・Eメールアドレス等の連絡先情報、お客様に付与された一意の番号や符号で他の情報と照合することにより容易にお客様個人を特定することのできる情報など、お客様を識別し特定することのできる情報を指します。

管理体制

BSLは個人情報を適切に保護するため、以下の取り組みを推進いたします。

- ・個人情報保護に関する社内規則を定め、個人情報を正確かつ安全に取り扱います。
- ・個人情報保護のための管理組織を設け、社員に対する教育啓蒙活動を実施いたします。
- ・電磁的に保存された個人情報データベース等を運用するにあたり、情報保護のための合理的な技術的施策をとり、個人情報データベース等への不正な侵入、情報の紛失・改竄・漏洩等の危険防止に努めます。
- ・個人情報の保護に関する日本の法令その他の規範を遵守すると共に、本方針の内容を継続的に見直し、その改善に努めます。

個人情報の取得方法

BSLではお客様に個人情報の提供をお願いすることができます。但し、個人情報の提供の是非はお客様ご自身で選択することができます。BSLは以下の方法によりお客様の個人情報を提供していくことがあります。

- ・製品のユーザー登録を行っていただく場合。
- ・製品やサプライ用品等を弊社から直接お買い求めいただく場合。
- ・製品の資料請求をしていただく場合。
- ・BSLの提供する各種のサービスをお申し込みいただく場合。
- ・BSLサポートセンターへお問い合わせいただく場合。
- ・アンケート等にお答えいただく場合。
- ・弊社製品やサービスに関するご意見をお寄せいただく場合。

お客様の個人情報は、紙媒体、FAX、Eメール、BSLウェブサイトへの書き込み等の方法により行われるものとします。

お客様が個人情報の照会、訂正、削除等を希望される場合には、BSLまでご連絡いただければ、合理的な範囲で速やかに対応いたします。

個人情報の利用目的

BSLはお客様からご提供いただいた個人情報を、下記の目的に使用いたします。

- ・製品やサプライ用品また製品資料など、お申し込みまたはご請求いただいたものをお届けするため。
- ・お申し込みまたはご依頼いただいたサービスをご提供するため。

- ・製品やサービスの更新情報、バージョンアップ情報、特典情報等をお知らせするため。
- ・新製品や関連商品、催し物等の案内をお知らせするため。
- ・製品の使用方法等に関する案内をお知らせするため。
- ・製品やサービスの利用動向を把握し、製品やサービスの品質向上のための参考情報とするため。
- ・社会通念に照らして上記に付随する業務の範囲内であるとBSLが判断したBSLが行うその他の業務用途のため。

個人情報の開示制限

BSLはお客様からの個人情報を、下記に該当する場合を除き第三者に開示または提供することはありません。

- ・お客様の同意を得た場合。
- ・製品やサプライ用品、製品資料、ダイレクトメール等を送付する際に、配達業者に配達に必要な最小限の情報を提供する場合。
- ・お客様が製品やサプライ用品または各種サービスなどの代金をお支払いいただく際に、金融機関やクレジットカード会社等に、決済取引上必要な最小限の情報を提供する場合。
- ・前項「個人情報の利用目的」に示す目的を達成するために、本指針と同等以上の秘密保持義務を課した第三者(業務委託先等)に開示または提供する場合。
- ・お客様が、BSLに損害を生じさせ、あるいはそのおそれがあるとBSLが判断した場合。
- ・人の生命、身体または財産の保護のために必要であって、利用者の同意を得ることが困難である場合。
- ・弁護士会・消費者センターなどの公的機関、裁判所・検察庁・警察などの法的機関や地方公共団体、またはその委託を受けた者が、その職務を遂行することに対して協力する必要がある場合であって、利用者の同意を得ることにより当該職務の遂行に支障を及ぼすおそれがある場合。
- ・法令により開示または提供が求められた場合。

BSLは、流通各社、販社、協力企業、その他の第三者、または弊社の広告等において、弊社の製品やサービスを説明するため、またその他の合法的な目的のために、お客様の統計情報を開示する場合があります。但し、統計情報には、個人を特定できる情報は含まれないものとします。

本方針の改定

本方針を改定する場合には、BSLウェブサイト(www.bsl-jp.com)にて通知いたします。

2005年4月22日

株式会社BSLシステム研究所

目次

1 製品をセットアップする.....	5	11 複合検索を行う.....	42
2 顧客入力画面の構成.....	11	12 マスタを操作する.....	46
3 基礎情報を入力する.....	12	13 各種の設定を行う.....	48
4 詳細情報を入力する.....	18	14 データファイルのバックアップをする.....	58
5 対応記録を入力する.....	21	15 バックアップファイルを復元する.....	60
6 販売商品を入力する.....	23	16 以前のバージョンからデータを移行する.....	62
7 顧客情報を転送する.....	25	17 データを別ファイルに出力する.....	64
8 一覧を操作する.....	28	18 外部ファイルのデータを読み込む.....	69
9 封筒・はがき・宛名ラベルを印刷する.....	35	19 サポートサービスを利用する.....	73
10 多重検索を行う.....	39		

■「かるがるできる顧客 5.5」の仕様

主な仕様	
事業所数	1 事業所(データファイル 1 件のみ)
顧客登録数	無制限(10 万件以内を推奨)
会社登録数	無制限(10 万件以内を推奨)
対応履歴数	無制限(1 顧客につき 5,000 件以内を推奨)
販売履歴数	無制限(1 顧客につき 1,000 件以内を推奨)
商品登録数	無制限(1 万件以内を推奨)
個人フリー項目	文字項目 5 件, 選択項目 5 件, 記念日 2 件
会社フリー項目	文字項目 5 件, 選択項目 5 件, 記念日 2 件
地図表示	ゼンリン電子地図帳に対応(Z Professional3 / Z6 以降)
メール転送	対応(顧客情報, 会社情報(vCard 形式)、対応記録(iCalendar 形式))
使用可能文字	シフト JIS コードの文字
データ量	データファイル 1 につきファイルサイズは 1GB 以内
データ移行	「かるがるできる顧客 2」以降のデータを移行可能
データ取込	CSV 形式の顧客データを取込可能(対応履歴および販売履歴の取込は不可)
データ出力	Excel, CSV, TSV, vCard, iCalendar, 筆まめ(Ver12 以降)形式
台帳・一覧表の出力	PDF, XPS
ネットワーク利用	ネットワーク共有による同時利用(マルチクライアント)には非対応

※管理項目および入力・印刷フォームは固定です。※メール転送機能の利用にはインターネット接続環境や送信サーバー等が別途必要です。メールの受信機能はありません。※バッケージ 1 つに付き最大 2 台のコンピューターでご利用いただけます。(ただし 2 台目はユーザー登録者が占有するコンピューターに限ります。同一データファイルの同時利用はできません)※データの安全性確保のため、他の「かるがるできる」シリーズとのデータ連動はしておりません※上記仕様は、改良のため予告なしに変更する場合があります。

■対応用紙

対応用紙	
封筒	長形 3 号・長形 4 号・角形 2 号・角形 3 号
はがき	通常はがき、年賀はがき、かもめ～る
宛名ラベル	BSL 専用サプライ用紙 LDW12PG エーワン 72212・72318・72321・72324
台帳・一覧表	A4 普通紙

※宛名印刷(封筒・はがき・宛名ラベル)の文字サイズやレイアウトは調整可能です。フォントは任意に変更可能です。本製品には毛筆体等のフォントは付属しておりません。連名の印刷機能はありません。その他の各用紙のレイアウトおよびフォントは固定です。※はがきは、日本郵便により書式が変更される場合があります。変更された場合、印刷位置が合わなくなることがあります。※上記「普通紙」とは、市販のコピー用紙等(白紙)への印刷です。※お使いのプリンター機種により使用可能な用紙は異なります。※対応用紙および書式仕様は変更することがあります。

【動作環境】(運用に必要なシステム要件)

●対応 OS: Windows 10/8.1/7(SP1)/Vista(SP2)(日本語版)※Windows 10 は、Win32 および.NET アプリケーションが動作可能な Home/Pro に対応します。※Windows 10 は、本製品の開発時点のバージョンで動作を確認しています。Windows 10 のアップデートが行われた場合の対応状況については、弊社ウェブサイトをご確認ください。※7 では SP1、Vista では SP2 が必要です。※各 OS の 32bit 版と 64bit 版に対応します。ただし Vista の 64bit 版には非対応です。※Windows Mobile/Phone/RT/Server には非対応です。※アップグレードインストールした Windows はサポート対象外です。●コンピューター本体(CPU): 上記 OS が稼働するコンピューター 800MHz 以上の CPU(2GHz 以上の CPU を推奨)※キーボードおよびマウス等の使用を推奨します。Windows 10 では「デスクトップモード」でご使用ください。●メモリ: 512MB 以上(2GB 以上を推奨)●ハードディスク: セットアップのために 200MB 以上の空き容量 実行時に作業領域として 500MB 以上の空き容量※上記はシステムドライブ(C ドライブ)に必要な空き容量です。セットアップ先はシステムドライブ固定で、変更はできません。●ディスプレイ:XGA(1024 × 768)以上の解像度(High Color(16bit)以上を推奨)※ディスプレイの「項目のサイズ」の設定(DPI)は、150%以下でご利用ください。それ以上のサイズでは正しく表示されない場合があります。●プリンター: 上記 OS に対応したプリンター(余白を上下左右 5mm 以下に設定可能なプリンターを推奨)●セットアップ方法: CD-ROM またはダウンロード※製品同梱の CD-ROM でセットアップする場合は、CD-ROM ドライブ等が必要です。ドライブの無いコンピューターの場合は、ダウンロードによるセットアップが可能です。●動作に必要なソフトウェア: 本製品は Microsoft Access 2010 Runtime の 32bit 版を使用しています。インストール済みでない場合はセットアップの際に自動的にインストールされます。その際、ハードディスクに 2GB の空き容量が別途必要です。Office 2010 の 64bit 版がインストールされている場合、Access 2010 Runtime の 64bit 版のダウンロードが必要です。また本製品は.NET Framework 2.0 を使用しています。Windows 7/Vista にはあらかじめインストールされています。Windows 10/8.1 でインストール済みでない場合は、ダウンロードが必要です。その際、ハードディスクに最大 980MB の空き容量が別途必要です。

※Access 2010 以外の他のバージョンの Access をご利用の場合には、動作に影響を与えることがあります。※各種プログラム等のダウンロードにはインターネット接続環境が必要です。※諸般の事情により、製品の仕様・対応用紙・デザイン・動作環境等は変更することがあります。※記載されている会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。※製品内容や動作環境の詳細、印刷見本、およびサポートサービスの詳細については、弊社ウェブサイトをご覧ください。(http://www.bsl-jp.com)

1 製品をセットアップする

本製品をご使用になるためには、パッケージに同梱されている CD-ROM 内のファイルをコンピューターのハードディスクにコピーして使用できる状態に設定する必要があります。この作業を「セットアップ」と言います。

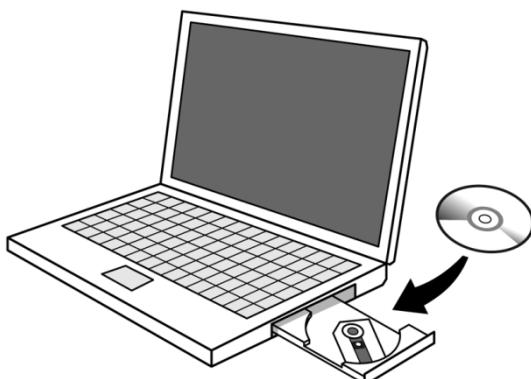
本製品のセットアップは、以下の手順で行ってください。

■ このマニュアルで使用されるアイコンについて

このマニュアルでは、以下のアイコンが使われています。

アイコン	説明
	本製品を使用する際の重要な説明の記載があるところで使用されています。このアイコンが使われている部分の説明は、必ずお読みください。
	本製品を使用する際に知っておくと便利な機能や説明の記載があるところで使用されています。

① CD-ROM をコンピューターのドライブにセットする



製品のセットアップを行うために、製品同梱の CD-ROM をコンピューターのドライブにセットします。

DVD RW ドライブ (D:) BSL_…

このディスクに対して行う操作を選んでください。

メディアからのプログラムのインストール/実行



製品のセットアップはこちら.exe の実行
発行元は指定されていません

その他の選択肢



フォルダーを開いてファイルを表示
エクスプローラー



何もしない

「自動再生」画面が表示されます。（画面は Windows 8.1 です）
[製品のセットアップはこちら.exe の実行]をクリックします。

（Windows 10/8.1 の場合は、CD-ROM をコンピューターのドライブにセットすると、スタート画面の右上に「タップして、このディスクに対して行う操作を選んでください。」と表示されるので、表示部分をクリック（タップ）すると、「自動再生」画面が表示されます）



お客様がご利用のコンピューターの環境によっては、通常と異なるセットアップ方法が必要な場合や、最初に異なる画面が表示される場合があります。
その場合は、以下の方法で対応してください。

●「自動再生」画面が表示されません。



CD-ROM をコンピューターのドライブにセットしても自動的に画面が表示されない場合は、CD-ROM に収録されている内容を表示し、[製品のセットアップはこちら]アイコンをダブルクリックしてください。

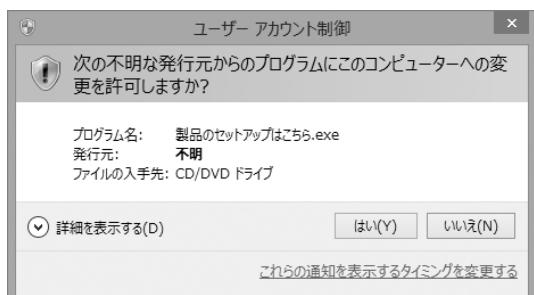
●「ご利用中の OS は、本製品の動作環境を満たしていないためインストールを続行することができません」というメッセージが表示されます。



このメッセージが表示されたコンピューターは、本製品の動作環境を満たしていないため、インストールは続行できません。

このメッセージが表示された場合は、[OK]ボタンをクリックし、次に表示される画面の案内にしたがって操作してください。

●途中で「ユーザー アカウント制御」画面が表示されます。



Windows 10/8.1/7をご利用の方は[はい]ボタンを、Windows Vistaをご利用の方は[許可]をクリックしてください。

その後は、7 ページの「製品の動作に必要なソフトウェアをインストールする」の画面に移動します。

●「警告」画面が表示されます。



本製品を Windows 10/8.1 でご利用になる方のうち、「.NET Framework 2.0」がインストールされていない環境でセットアップを実行すると、警告画面が表示されます。

その場合は、[OK]ボタンをクリックし、次に表示される画面の案内にしたがって操作してください。

■ CD-ROM ドライブが付属していないコンピューターにセットアップする場合

CD-ROM ドライブが付属していないコンピューターの場合、「BSL Web インストーラー」を使用してセットアップできます。「BSL Web インストーラー」は弊社ウェブサイトのダウンロードページよりダウンロードできます。(http://www.bsl-jp.com/inst/)

「BSL Web インストーラー」の使用方法などの詳細は、弊社ウェブサイトにてご確認ください。



② 製品の動作に必要なソフトウェアをインストールする

本製品をセットアップするためには、以下のソフトウェアをインストールする必要があります。これらは本製品を動作させるために必要な環境を提供するソフトウェアです。(お客様のコンピューター環境によっては、すでにインストールされているものがあります。その場合はインストールされません)

- ・「BSL 共通プログラム」
- ・「Microsoft Access 2010 Runtime」
- ・「Microsoft Access 2010 Runtime SP1」
- ・「.NET Framework 2.0」



CD-ROM をコンピューターのドライブに挿入すると、自動的に製品の動作に必要なソフトウェアをインストールする画面が表示されます。(ご利用中のコンピューターの環境により、表示される内容は異なります)

[インストール]ボタンをクリックすると、順番にインストールが開始されます。

Memo

ソフトウェアのインストール状況は、左側の[ステータス]欄で確認できます。



「成功」

インストールが成功したことを表します。

「インストール中」

現在そのソフトウェアをインストールしている最中であることを表します。

「待機中」

これからインストールを行う準備をしていることを表します。

③ 製品の新規セットアップを開始する



製品のインストールを行います。「セットアップメニュー」画面に表示される[新規セットアップ]ボタンをクリックします。(インストール中は、製品名が「かるがるできる顧客5」と表示されます)

以前のバージョンの製品がコンピューターにセットアップされている場合でも、新たにセットアップを行うには[新規セットアップ]ボタンをクリックします。

画面の指示に従ってセットアップを行い、完了画面が表示されると、セットアップの完了です。

Memo

BSL 製品のインストール状況によって、[セットアップ済み製品の更新]ボタンや[セットアップ済み製品の削除]ボタンが表示されます。



[セットアップ済み製品の更新]

すでにセットアップされている BSL 製品のファイルの更新を行います。製品の動作に問題が発生したり、製品が動作しなくなったりした場合などに行います。

[セットアップ済み製品の削除]

すでにセットアップされている BSL 製品の削除を行います。ただし、ユーザーによって作成されたデータファイルは削除されません。

④ 製品を起動する



製品のセットアップが完了すると、デスクトップ上（「Windows 10/8.1」の場合は、スタート画面のタイル）に製品名の書かれたアイコンが表示されます。このアイコンをダブルクリックすると、製品が起動します。



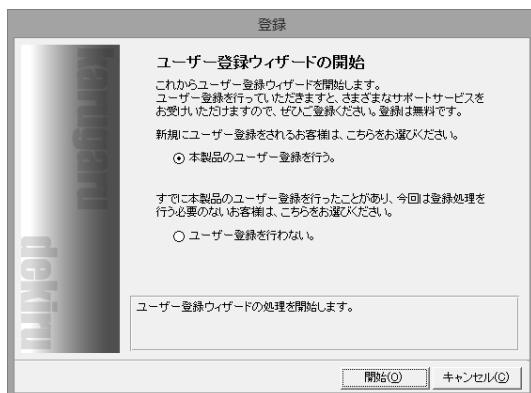
製品の起動時には、以下の点にご注意ください。

- 起動時に「ユーザーアカウント制御」画面が表示される場合があります。その場合、Windows 10/8.1/7をご利用の方は[はい]を、Windows Vistaをご利用の方は[許可]をクリックしてください。
- 製品の初回起動時には、起動までに時間がかかる場合があります。
- 同じコンピューター上で同一製品を複数起動することはできません。起動時に、製品がすでに起動中であるというエラーメッセージが表示された場合には、1 分ほど待ってから再度起動してみてください。それでも解決しない場合は、Windows の再起動を行ってください。
- セットアップには管理者(Administrator)権限が必要ですが、セットアップ後は一般ユーザー(User)権限があれば使用できます。ただしセットアップ時のユーザーの選択で、「(ユーザー)のみ」を選択している場合は、セットアップしたときと同じユーザー アカウントでログオンしなければ、スタートメニューやショートカットが表示されず、製品を起動できません。

⑤ 初期設定を行う

本製品をセットアップ後、はじめて製品を起動すると「ユーザー登録ウィザード」と「お知らせ機能」の設定、および「アップデートプログラムの確認」が表示されます。

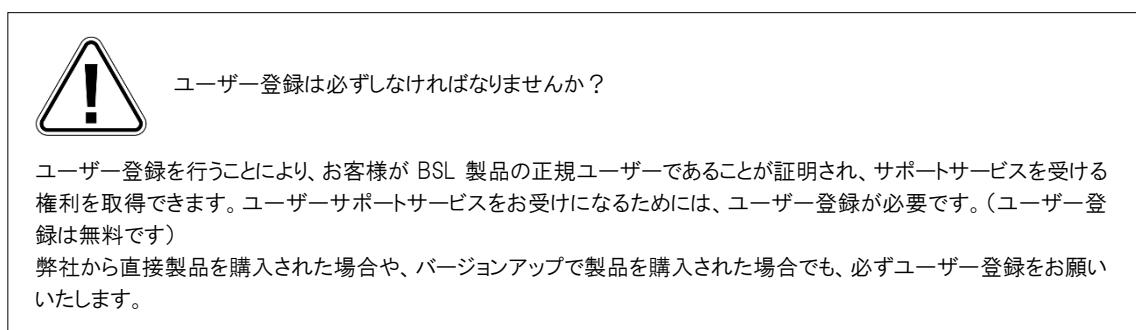
■ ユーザー登録ウィザードの開始



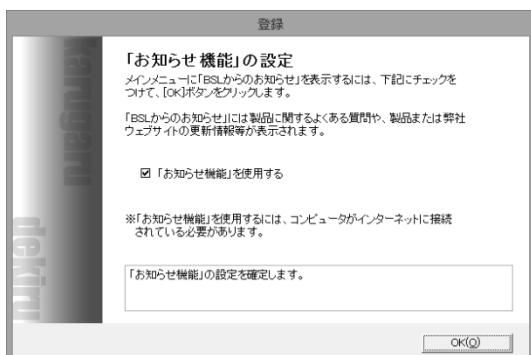
ユーザー登録を行うには、[開始]ボタンをクリックします。

ユーザー登録は、オンライン経由での登録と、登録用紙を印刷して FAX や郵便で送付する方法をお選びいただけます。

後からユーザー登録を行いたい場合は、[キャンセル]ボタンをクリックしてください。製品起動後、メインメニューの[サポート]タブ内にある[ユーザー登録]アイコンをクリックすると、いつでもユーザー登録を行うことができます。



■ 「お知らせ機能」の設定



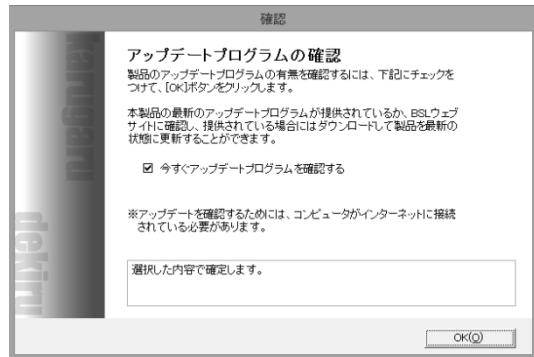
「お知らせ機能」の設定を行います。

「お知らせ機能」とは、本製品の起動時にインターネットを経由して製品に関する最新の情報をメインメニューに表示させる機能です。本製品の更新情報や、お得な最新情報を閲覧できます。

初期設定では、「お知らせ機能」を使用するにチェックが付いており、設定が有効になっています。「お知らせ機能」を使用する場合は、そのまま[OK]ボタンをクリックします。

※「お知らせ機能」のご利用には、インターネット接続環境が必須です。

■ アップデートプログラムの確認



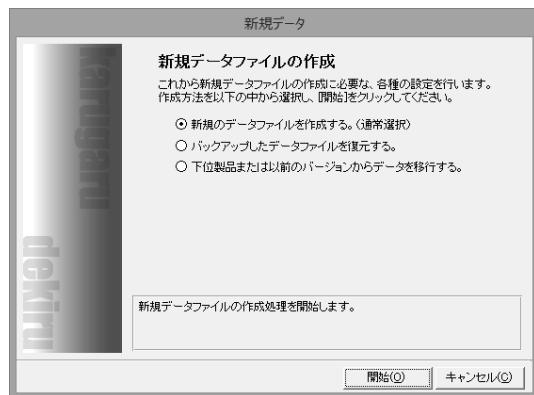
「アップデートプログラムの確認」が表示されます。

アップデートプログラムの有無を確認するには、[今すぐアップデートプログラムを確認する]にチェックを付けて[OK]ボタンをクリックします。

アップデートプログラムが存在する場合は、一度製品が自動的に終了し、プログラムの更新が行われた後、再度製品が起動します。

※製品を最新版にアップデートするには、インターネット接続環境が必要です。

⑥ データファイルを作成する



本製品に入力した各種の情報を保存するためのデータファイルを作成します。

※データファイルは既定のドキュメントフォルダーに保存されます。保存場所を他のフォルダーやクラウドストレージの同期フォルダーに変更したい場合には、57ページの「フォルダー設定」をご覧ください。

■ 新規のデータファイルを作成する



新規データファイルの作成を開始すると、新規データファイル作成ウィザードが表示されます。

画面に表示される指示にしたがって入力します。
入力箇所にマウスのカーソルを移動すると、画面下に説明が表示されます。

必要箇所の入力が完了したら、画面右下の[次へ]ボタンをクリックして、次の画面に進みます。以降は画面の指示にしたがって進んでください。

■ バックアップしたデータを復元する

以前にバックアップしておいた本製品のデータファイルを復元して使用できる状態にします。(詳しくは、60ページの「バックアップファイルを復元する」をご覧ください)

■ 以前のバージョンからデータを移行する

以前のバージョンで入力したデータを本製品に移行できます。(詳しくは、62ページの「以前のバージョンからデータを移行する」をご覧ください)

2 顧客入力画面の構成

顧客入力画面には、入力作業に役立つさまざまな機能が用意されています。顧客の基本情報の入力は、顧客入力画面から行います。

【メニューバー】
顧客情報の印刷や削除など、便利な機能を呼び出すことができます。

【タブ】
画面上部のタブによって入力内容を切り替えることができます。
[基礎情報]タブには、顧客の氏名や性別、生年月日、住所、電話番号などの基礎情報を入力します。
[詳細情報]タブでは、任意の名称で登録できる項目を設定して、顧客に関する詳細な情報を補足的に入力できます。
[対応記録]タブでは、顧客への対応記録を登録・管理します。
[販売商品]タブでは、顧客への販売商品を登録・管理します。

【操作ボタン】
顧客情報の編集や転送、エクスポート、宛名印刷など、さまざまな操作を行うためのボタンが用意されています。

【入力画面】
顧客情報を入力します。入力画面を切り替えるには、画面上部のタブをクリックして選択します。



3 基礎情報を入力する

◆顧客情報を入力するには



新規に顧客情報を入力するには、「顧客登録」画面の[基礎情報]タブをクリックして開きます。(通常「顧客登録」画面を開くと、[基礎情報]タブを開いた状態で表示されます)

はじめに顧客氏名を入力し、住所等の顧客の基本となる情報を入力できます。

[基礎情報]タブ内では、以下の顧客情報を登録・管理できます。

■ 基礎情報

項目	説明
顧客コード	顧客コードを入力します。(半角 10 桁以内を推奨。最大 20 桁) 初期設定では、自動的に 5 桁の連番が振られるようになっていますが、「設定」画面の[自社設定]内にある「コード自動連番」で変更できます。
フリガナ	氏名のフリガナを全角のカタカナで入力します。氏名欄に入力をすると自動的にフリガナが振られますか、変更が必要な場合にはここで編集してください。
氏名	氏名を入力します。顧客が法人の場合は、担当者名を入力します。担当者が決まっていない場合は、「ご担当者」など適切な文字を入力してください。
敬称	「様」や「殿」などの敬称を氏名欄の横にあるリストから選択します。 この設定が、封筒や宛名ラベルの印刷に使用されます。
性別	「男性」「女性」「不明」をリストから選択します。(既定値の設定については、53 ページの「入力設定」をご覧ください)
生年月日	生年月日を入力します。先頭に「S(昭和)」や「H(平成)」を付けると、和暦で入力できます。(生年月日の表示方法については、54 ページの「生年月日の表示方式」をご覧ください)
出身地	出身地を入力します。
登録区分	「個人」もしくは「法人」のどちらかをリストから選択します。(既定値の設定については、53 ページの「入力設定」をご覧ください)
送付先	はがきなどの送付先として、「自宅」または「会社」をリストから選択します。(既定値の設定については、53 ページの「入力設定」をご覧ください)
画像	顧客の写真等を表示できます。[読込]ボタンをクリックして、添付する画像を選択します。[解除]ボタンをクリックすると、プレビューを非表示にします。 以下のファイル形式のものを表示できます。 <ul style="list-style-type: none">・ Windows ビットマップ(.bmp/.rle/.dib)・ アイコン(.ico)画像・ PNG ファイル(.png)・ 拡張メタファイル(.emf)・ JPEG ファイル(.jpg/.jpeg)・ Windows メタファイル(.wmf)・ GIF ファイル(.gif) プレビューを表示するには、メインメニューの[設定]アイコンをクリックして「設定」画面を表示し、[入力設定]内の[顧客情報に画像を使用する]にチェックが入っている必要があります。詳細は、54 ページの「その他の設定」もご覧ください。
郵便番号(自宅)	自宅の郵便番号を入力します。郵便番号に対応する都道府県と住所が自動的に「都道府県」と「住所 1」に入力されます。また、[〒-住所]ボタンをクリックすると、住所から郵便番号を検索できます。
都道府県(自宅)	自宅の都道府県を入力します。右の[▼]ボタンをクリックして、リストからも選択できます。
住所1(自宅)	自宅の市区町村・番地を入力します。
住所2(自宅)	自宅のアパート名・マンション名を入力します。

電話番号1(自宅)	自宅の電話番号を入力します。
電話番号2(自宅)	自宅の電話番号が2つある場合に、もう一方の電話番号を入力します。
FAX番号(自宅)	自宅のFAX番号を入力します。
携帯電話(自宅)	携帯電話番号を入力します。
メール希望	メールでの案内やダイレクトメールを希望する場合にチェックを付けます。クリックすると、チェック/未チェックを切り替えることができます。
メール(1)	メールアドレスを入力します。右の[起動]ボタンをクリックすると、宛先にアドレスが入力された状態でメールを起動します。
メール(2)	メールアドレスが2つある場合に、もう一方のメールアドレスを入力します。右の[起動]ボタンをクリックすると、宛先にアドレスが入力された状態でメールを起動します。
会社名(会社)	顧客の会社をリストから選択します。会社の入力方法については、次の項目の「会社情報を登録するには」をご覧ください。
事業所(会社)	会社の事業所名が表示されます。※
法人番号	会社の法人番号が表示されます。※
郵便番号(会社)	会社の郵便番号が表示されます。※
都道府県(会社)	会社の都道府県が表示されます。※
住所1(会社)	会社の市区町村・番地が表示されます。※
住所2(会社)	会社のビル名等が表示されます。※
電話番号1(会社)	会社の電話番号が表示されます。※
FAX番号(会社)	会社のFAX番号が表示されます。※
所属部署	所属部署を入力します。右の[▼]ボタンや[一覧]ボタンをクリックすると、登録済みの所属部署リストから選択できます。
役職	役職を入力します。右の[▼]ボタンや[一覧]ボタンをクリックすると、登録済みの役職リストから選択できます。
職種	「役員」、「事務」、「研究開発」など職種を入力します。右の[▼]ボタンや[一覧]ボタンをクリックすると、登録済みの職種リストから選択できます。

※この項目は直接入力できません。入力は「会社登録」画面から行います。詳しくは、続く「会社情報を登録するには」をご覧ください。

◆会社情報を登録するには

会社情報を登録するには、以下の方法があります。

■新規に登録する

「顧客登録」画面の[基礎情報]タブ内にある[会社情報]欄の[会社名]のところで新規に登録します。
[会社名]欄に直接会社名を入力し、キーボードの[Enter]キーを押すと、「新しい会社を追加しますか」という確認メッセージが表示されます。



[はい]を選択すると、「会社登録」画面が表示されるので、ここで詳細な会社情報を登録します。また、一度会社情報を登録すると、次回の入力時にリストから選択することができるようになります。

会社情報を登録し[閉じる]ボタンをクリックすると、「顧客登録」画面の[会社情報]欄に関連する情報が自動的に入力されます。

Memo

新しい会社情報を会社マスタから登録するには、メインメニューの[特別処理]タブ内にある[会社マスタ]アイコンをクリックし、画面左下の[新規]ボタンをクリックします。

■ リストから選択する

[会社名]の右にある[▼]ボタンをクリックすると、すでに登録されている会社の一覧が表示されるので、該当する会社をリストから選択して入力できます。

[▼]ボタンをクリックして
リストを表示

■ [一覧]ボタンを使用する

登録された会社数が多くなると、リストから選択することが難しくなります。そのような場合には[会社名]の右にある[一覧]ボタンをクリックします。

[一覧]ボタンをクリック

[一覧]ボタンをクリックすると、「会社転記」画面が表示されます。

入力したい会社名もしくはその一部を[会社名称]欄に入力して、キーボードの[Enter]キーを押します。

該当する会社が絞り込まれるので、入力したい会社名の左にある[転記]ボタンをクリックします。

画面に表示される会社の並び順は、会社マスターの並び順と同じになります。並び順を変更したい場合は、会社マスターから変更します（47ページ参照）

◆ 会社情報を編集するには

[編集]ボタンをクリック

すでに登録されている会社情報を編集するには、[会社情報]欄の右下にある[編集]ボタンをクリックします。すでに登録されている会社情報が表示されるので、必要に応じて編集します。

[参照]ボタンをクリック

またメインメニューの[特別処理]タブ内にある[会社マスター]アイコンをクリックすると、「会社マスター」画面が表示されます。編集が必要な会社の[参照]ボタンをクリックして会社情報を編集することもできます。

◆ 同じ会社名で事業所が異なる会社を複数登録するには

同じ会社名で事業所が異なる会社を複数登録したい場合には、以下の方法で登録できます。

■ 顧客の「基礎情報」画面から行う場合

本製品では、あらかじめ登録しておかなくても、顧客登録を行いながら会社を登録できます。

例えば、「会社 A」の「事業所 A」がすでに登録されており、「会社 A」の「事業所 B」を新たに登録したい場合は、以下の方法で行います。



顧客の「基礎情報」画面において、すでに登録されている「会社 A」を選択して表示します。

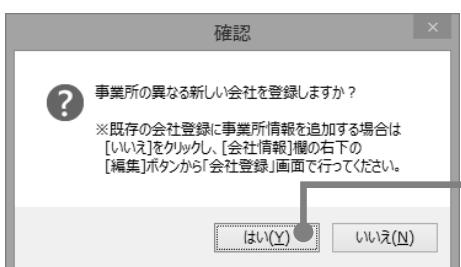
[会社名]欄に「会社 A」が、[事業所]欄に「事業所 A」が表示された状態になります。

「会社 A」を選択



次に、[事業所]欄の内容を、別の任意の事業所名（例えば「事業所 B」）に変更します。

「事業所」欄に
「事業所 B」と入力



事業所を変更すると、左図の確認メッセージが表示されるので、[はい]をクリックして事業所の異なる新しい会社として登録します。

[はい]ボタンをクリック



「会社 A」の「事業所 B」を登録する画面が表示されるので、その他の必要な情報を入力します。

これで新たに「会社 A」の「事業所 B」が登録されました。同じ要領で「事業所 C」や「事業所 D」を登録できます。

■「会社マスタ」画面から行う場合

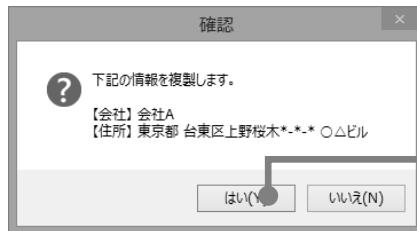


あらかじめ、複数の事業所を登録したい会社を 1 件登録しておきます。

「会社マスタ」画面において、複製する会社にカーソルが当たっている状態で、画面下の[複製]ボタンをクリックします。

複製したい会社をクリックして、カーソルが当たっている状態にします。

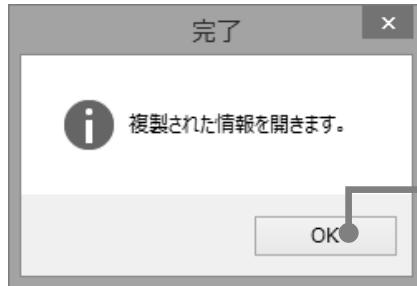
[複製]ボタンをクリック



複製の確認画面が表示されます。

確認画面に表示される会社名を確認し、[はい]ボタンをクリックします。

[はい]ボタンをクリック



その後、「複製された情報を開きます。」とメッセージが表示されるので、[OK]ボタンをクリックします。

[OK]ボタンをクリック



複製された内容が画面に表示されます。

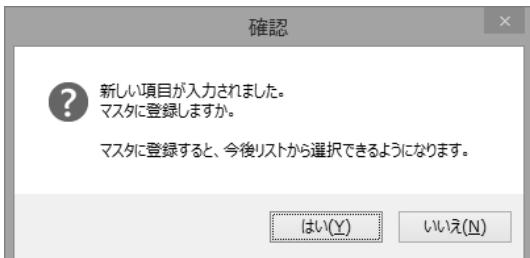
事業所名を変更し、必要な情報の編集を行うと、会社名が同じで、異なる事業所名の情報が登録されます。

さらに他の事業所を登録したい場合は、上記の作業を繰り返し行います。

◆ [所属部署]、[役職]、[職種]を登録するには

■ 新規に登録する

はじめて[所属部署]、[役職]、[職種]を入力する場合は、直接各欄に入力します。



新規で入力を行った場合、または新しい[所属部署]、[役職]、[職種]が入力された場合は、次のメッセージが表示されます。

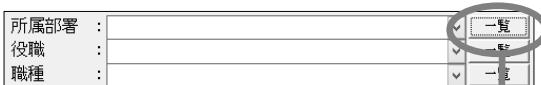
ここで[はい]を選択すると、マスタに登録され、次回入力時にリストから選択することができるようになります。マスタに登録せず1度だけ入力したい場合は、[いいえ]をクリックします。

■ リストから選択する

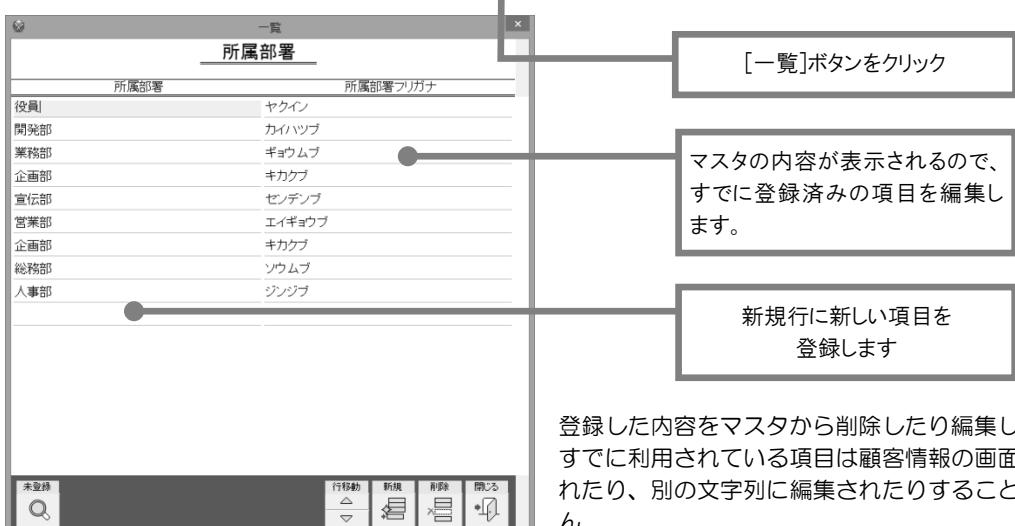
[所属部署]、[役職]、[職種]の各欄の右にある[▼]ボタンをクリックすると、すでにマスタに登録されている情報の一覧が表示されます。該当するものをリストから選択し入力できます。



■ マスタの内容を編集するには



[所属部署]、[役職]、[職種]の右にある[一覧]ボタンをクリックすると、登録した内容を削除したり編集したりできます。



■ 一覧画面のボタン操作

ボタン	説明
行移動(△)	現在選択されている行(カーソルが当たっている行)を、一つ上に移動します。
行移動(▽)	現在選択されている行(カーソルが当たっている行)を、一つ下に移動します。
新規	カーソルが一番下の新規行に移動します。
削除	現在カーソルが当たっている行の項目を削除します。
閉じる	画面を閉じて、前の画面に戻ります。

4 詳細情報を入力する



顧客の詳細情報を入力するには、「顧客登録」画面の[詳細情報]タブをクリックして開きます。

■ URL を入力する

個人や会社のホームページ等がある場合は、[URL]欄にアドレスを入力しておきます。[URL]欄に、ホームページのアドレスが入力された状態で[起動]ボタンをクリックすると、そのホームページが開きます。また、[URL]欄にホームページアドレスではなく、「C:\顧客管理\挨拶状.doc」などファイルのパスを入力しておくと、[起動]ボタンをクリックしたときにファイルを開くこともできます。

[起動]ボタンをクリックすると、[URL]欄に入力された会社のホームページ等が表示されます。

ホームページをご覧になる場合、コンピューターに Web ブラウザがインストールされているなど、インターネットに接続できる環境が必要です。

■ [分類1～5]、[選択 1～5]を入力する

「顧客登録」画面の[詳細情報]タブにある[分類1～5]および[選択1～5]には、自由に情報を登録できます。[分類1～5]にはテキストデータを保存することができ、[選択1～5]には（する/しない）（ある/なし）などの二者択一のデータを保存できます。

例えば、[分類1]には信用度（A/B/C/D・・・）を、[分類2]には関係（親族/友人/顧客）を登録し、[選択1]には「お中元」を、[選択2]には「保守契約」を登録するなどの自由な使い方ができます。

基礎情報	詳細情報	対応記録	販売商品
URL : http://www.bsl-jp.com/			
区分 新規取引先 部門 法人保険部門 獲得媒体 企業代理店 管轄 コールセンター 残り年数 3年	<input type="button" value="一覧"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 複数契約 <input type="checkbox"/> 家族割引 <input type="checkbox"/> 選択3 <input type="checkbox"/> 選択4 <input type="checkbox"/> 選択5	<input type="button" value="一覧"/>

[分類1～5]は[所属部署]や[役職]などと同様に、右側の[一覧]ボタンをクリックすることによって、リストの内容を変更できます。

■ [記念日 1～2]を入力する

結婚記念日	2008/06/18	<input type="button" value="補助"/>
退職記念日	2015/03/31	<input type="button" value="補助"/>

[記念日 1～2]には、顧客に対して覚えておきたい特別な日付を二つまで登録できます。

例えば、[記念日 1]の標題を「結婚記念日」に変更した場合、日付を入力しておけば結婚記念日で顧客を抽出できます。月毎に結婚記念日を迎える顧客を抽出し、お祝いメールやキャンペーンDMの送付、プレゼント発送を行う場合等に役立ちます。

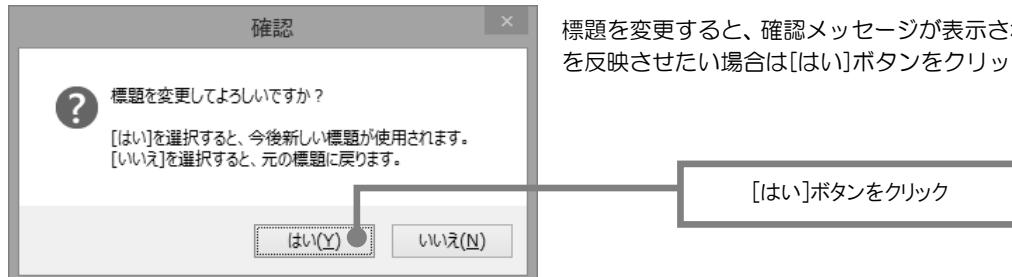
[記念日 1～2]の右にある[補助]ボタンをクリックすると、簡易カレンダーが表示されます。カレンダーから日付を選択し[日付を書き込む]ボタンをクリックすると、日付が入力されます。

■ 標題を変更するには

[分類 1～5]・[選択 1～5]・[記念日 1～2]の標題を変更できます。標題を変更するには、水色の部分を直接クリックして編集してください。すでに使用されている同名の標題へは変更できません。

区分	<input type="text" value="新規取引先"/>
部門	<input type="text" value="法人保険部門"/>
獲得媒体	<input type="text" value="企業代理店"/>

水色の部分をクリックすると、カーソルが移動して編集可能な状態になります。



標題を変更すると、確認メッセージが表示されます。変更を反映させたい場合は[はい]ボタンをクリックします。

■ [社内担当]を入力する

顧客に対する担当者を入力します。直接[社内担当]欄に担当者名を入力するとマスタに登録され、次回から右の[▼]ボタンをクリックすると表示されるリストから、選択できるようになります。

■ 登録日を入力する

[登録日]欄には、顧客情報を登録した日付を入力します。新規の顧客を入力した時点で、自動的に日付が入力されます。[登録日]欄にカーソルがある状態で入力補助キー（通常はキーボードの[HOME]キー）を押すか、右の[補助]ボタンをクリックすると、入力に便利なカレンダーが表示されます。

■ [終了]欄にチェックを付ける

顧客との取引や関係が終了したときなどには、[終了]欄にチェックを付けます。チェックを付けておくと、「顧客一覧」画面で、現在取引のある顧客（あるいは取引のない顧客）だけを絞り込みたい場合などに利用できます。

■ 付箋を付ける

顧客情報に付箋を付けます。右の[参照]ボタンをクリックすると、「付箋登録」画面が表示され、付箋の色指定や付箋の内容を入力できます。付箋を付けておくと、「顧客一覧」画面で特定の顧客を見つける場合などに利用できます。

■ 備考を入力する

顧客に関するさらに詳細な情報を自由に入力します。

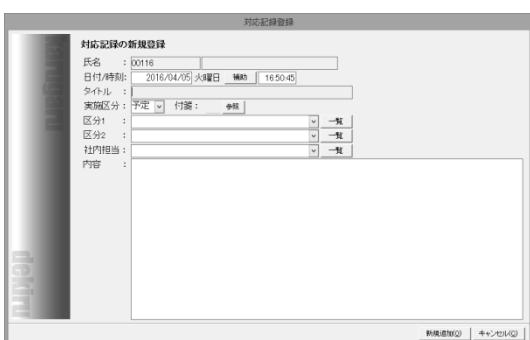
5 対応記録を入力する



「顧客登録」画面の[対応記録]タブを開くことによって、特定の顧客に対する具体的な対応の記録を入力できます。

対応記録を新規追加する場合には、[新規]ボタンをクリックします。

[新規]ボタンをクリック



[新規]ボタンをクリックすると、「対応記録の新規登録」画面が表示されます。対応記録はこの画面から入力します。

新規の対応記録は、メインメニューの[新規対応記録]アイコンからも入力できます。

■ 日付を入力する

はじめに対応した日付と時刻を入力します。最初に表示されている日付と時刻は、対応記録を開いたときの日付・時刻になっています。必要に応じて変更してください。

日付と時刻表示の間にある[補助]ボタンをクリックすると、便利なカレンダーが表示され、日付を入力できます。また日付のとなりの空欄は、対応記録を新規追加すると自動的に曜日が割り振られます。

■ タイトルを入力する

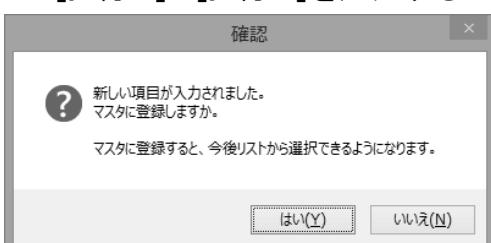
対応記録のタイトル（表題）を入力します。

■ 実施区分を入力する

実際の対応が現在どのような状態にあるのか、実施区分を入力します。区分は[済]と[予定]の二つから選択できます。ここで実施区分を正しく入力しておくと、メインメニューの[対応一覧]アイコンをクリックして対応記録の一覧を参照したときに、[済]は青字、[予定]は赤字で表示されますので、実施状況を把握するのに大変便利です。

実施区分の初期値は、「設定」画面で設定できます。詳細は、53 ページの「入力設定」をご覧ください。

■ [区分 1]と[区分 2]を入力する



[区分 1]と[区分 2]は、運用目的に応じて自由に設定できます。[区分 1]に関しては、[電話]・[FAX]・[メール]・[訪問]・[来社]といった区分が最初から登録されています。

[区分 1]・[区分 2]に新しい項目が入力されると左のメッセージが表示され、[はい]を選択すると、登録した項目を次回入力時にリストから選択できるようになります。



[区分1]と[区分2]の右にある[一覧]ボタンをクリックすると、[区分1]・[区分2]に関してそれぞれ項目を登録/編集する画面が表示されます。ここで登録した項目も次回入力時にリストから選択できるようになります。

■ 社内担当を入力する

対応する社内担当者を入力します。[区分1]・[区分2]と同じように担当者を直接入力すると、自動的に社員マスターに登録され、次回から▼を押すとリストから選択することができるようになります。また右の[一覧]ボタンを押すと担当者の一覧が表示されますので、ここで新しい担当者を登録することもできます。

■ 内容を入力する

実際の対応内容や必要なメモなど、さまざまな内容の情報を自由に入力できます。

■ 対応記録を追加する

必要な対応情報を入力したら、画面下にある[新規追加]ボタンをクリックしてください。対応記録として保存されます。なお、対応記録の並び順は日付・時刻が新しい記録順になります。

◆ 対応記録を参照・編集・印刷するには

登録済みの対応記録を参照・編集・印刷するには、対応記録の入力画面右の[参照]ボタンをクリックします。



[参照]ボタンをクリックすると「対応記録」画面が表示されます。この画面で対応記録の参照・編集・印刷を行うことができます。

印刷を行うには、[印刷]ボタンをクリックします。

編集後に[閉じる]ボタンを押すと、編集内容が反映されます。

Memo

対応記録は、「対応記録一覧」画面から検索し、参照・編集・印刷することもできます。一覧の操作については、28ページの「一覧を操作する」をご覧ください。

6 販売商品を入力する



「顧客登録」画面の[販売商品]タブを開くことによって、販売した商品の履歴を入力できます。

販売商品を新規追加する場合には、[新規]ボタンをクリックします。

[新規]ボタンをクリック



[新規]ボタンをクリックすると、「販売商品の新規登録」画面が表示されます。販売商品はこの画面から入力します。

■ 販売日を入力する

はじめに商品を販売した日付を入力します。最初に表示されている販売日は、「販売商品の新規登録」画面を開いたときの日付になっています。必要に応じて変更してください。

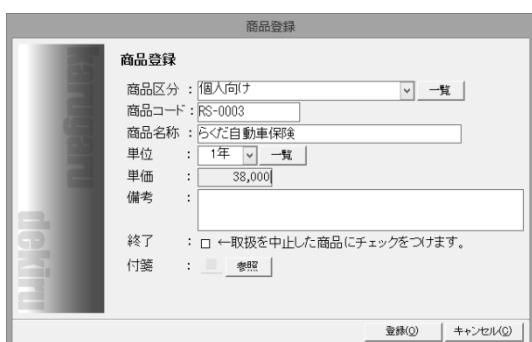
日付の右にある[補助]ボタンをクリックすると、便利なカレンダーが表示されます。該当する日を選択すると登録できます。

■ 商品コード、商品名称を入力する

販売商品を入力します。

新しい販売商品を入力する際は、まず[商品コード]を入力します。[商品コード]を入力すると、「新しい商品コードが入力されました。新しく商品を登録しますか?」という確認メッセージが表示されます。

[はい]を選択すると「商品登録」画面が表示されます。



「商品登録」画面では、[商品区分]、[商品コード]、[商品名称]、[単位]、[単価]、[備考]、[付箋]など、販売商品の詳細情報を入力できます。

詳細情報を入力した後、[登録]ボタンをクリックすると詳細情報が[販売商品]の管理画面に反映されます。一度登録した販売商品は、次回入力時にリストから選択できるようになります。

※[単価]の小数点桁数の設定については、49ページの「自社設定」をご覧ください。

■ 数量を入力する

販売商品の入力が終わったら、商品の[数量]を入力します。[数量]を入力すると、自動的に[金額]が計算されます。数量欄の右側にある[補助]ボタンを押すと、計算に便利な電卓機能を呼び出すことができます。電卓画面では、一般的な電卓の機能に加えて、括弧付演算や消費税の計算も可能です。必要に応じてご利用ください。

※[数量]の小数点桁数の設定については、49ページの「自社設定」をご覧ください。

● 入力済みの販売商品を後から変更するには



[一覧]ボタンをクリック



[転記]ボタンをクリック

新しい販売商品を商品マスターから登録するには、メインメニューの[特別処理]タブ内にある[商品マスター]アイコンをクリックし、画面左下の[新規]ボタンをクリックします。

■ 販売商品を印刷する

登録した販売商品を印刷するには、画面右下の[印刷]ボタンをクリックします。販売商品は、「販売商品一覧」画面から検索し、任意の販売商品のみを印刷することもできます。一覧の操作については、28ページの「一覧を操作する」をご覧ください。

[商品名称]欄の右にある[一覧]ボタンをクリックすると、「商品転記」画面を表示し、商品マスターに登録されている商品から選択して入力できます。すでに入力されている販売商品を後から変更する場合に便利です。

[商品名称]、[商品コード]、[商品区分]のいずれかに入力したい商品の情報を入力してから、キーボードの[Enter]キーを押します。

[Enter]キーを押すと該当する商品が表示されるので、入力したい商品の[転記]ボタンをクリックします。

[商品名称]欄に商品を入力しても、該当する商品が見つからなかった場合は、転記できません。登録済みの商品情報のみを転記できます。

7 顧客情報を転送する

本製品では、登録されている顧客情報・会社情報・対応記録を、vCard や iCalendar などのファイルとして出力し、携帯電話やスマートフォン、タブレットなどへ転送したり、各種のオンラインサービス上で活用したりできます。顧客情報の活用の幅が広がり、マーケティング活動が充実します。

◆ 転送のための準備



顧客情報を転送するには、送信に必要なメールサーバーの設定が必要です。

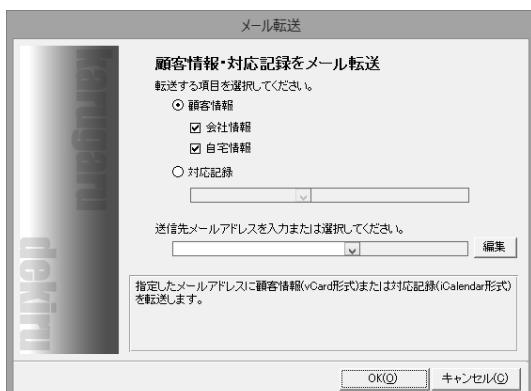
転送用のメールサーバーの設定は、メインメニューの[設定]アイコンをクリックすると表示される「設定」画面から行います。

設定内容の詳細については、49 ページの「転送設定」をご覧ください。

◆ 顧客情報を転送する



顧客情報を転送するには、「顧客登録」画面下の[転送]ボタンをクリックします。



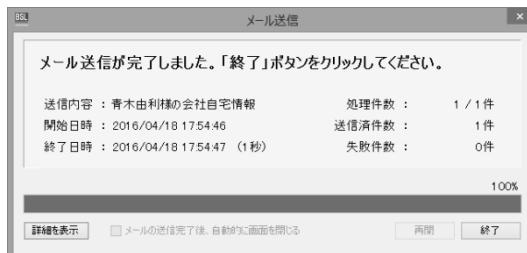
「メール転送」画面が表示されます。
転送したい情報と送信先のメールアドレスを選択します。

項目	説明	
顧客情報	現在表示している顧客情報を転送します。転送する情報として会社情報と自宅情報のいずれか、または両方を選択します。	
	会社情報	会社情報を転送します。 転送する項目は、[会社名]、[事務所]、[所属部署]、[役職]、[職種]、[氏名]、[会社郵便番号]、[会社住所]、[会社電話番号 1]、[会社 FAX 番号]、[会社メール]、[携帯電話番号]、[法人番号]です。
	自宅情報	自宅情報をメール転送します。 転送する項目は、[氏名]、[フリガナ]、[自宅郵便番号]、[自宅住所]、[自宅電話番号 1]、[自宅電話番号 2]、[自宅FAX 番号]、[携帯電話番号]、[自宅メール(1)]、[自宅メール(2)]です。
対応記録	対応記録を転送します。[▼]をクリックして表示されるリストから、転送する対応記録を選択します。転送する項目は、[日付]、[時刻]、[氏名]、[顧客コード]、[会社名]、[事業所]、[タイトル]、[内容]です。	
送信先メールアドレス	[▼]ボタンを選択して、送信先メールアドレスを選択します。	
	編集	[編集]ボタンをクリックすると、送信先のメールアドレスの登録や編集を行う画面が表示されます。メールアドレスは、最大 3 つまで登録できます。
	 <p>[既定]欄にチェックを付けたメールアドレスが、通常使用するメールアドレスとして自動的に選択されます。 [メールアドレス]欄に送信先のメールアドレスを入力します。 [メモ]欄には、使用するメールアドレスに関する様々な情報を残せます。 [クリア]ボタンをクリックすると、登録されたメールアドレス情報を消去されます。</p>	



設定後、[OK]ボタンをクリックすると、顧客情報のメール転送を開始します。

[OK]ボタンをクリックすると、顧客情報のメール転送が開始されます。



メール送信が開始されます。
送信が完了すると、「メール送信が完了しました。」という左図の完了メッセージが表示されます。

このメッセージが表示されれば、メール送信の完了です。

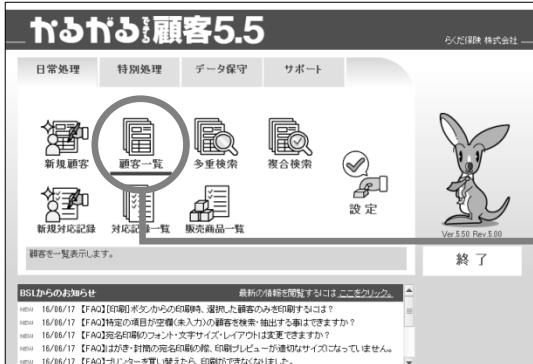
■ 送信時のエラーメッセージについて

メールの送信時に、メール送信ダイアログにエラーメッセージが表示される場合があります。その場合は、次の方法で対応してください。

エラーメッセージ	対処方法
 メール送信を開始できませんでした。「終了」ボタンをクリックしてください。 SMTPサーバーに下記の理由で接続できませんでした。 [サーバー名] ポート番号をいすれかが正しく設定されていない可能性があります。 サーバー名: ポート番号: 詳細を表示 メールの送信完了後、自動的に画面を開ける 再開 終了	メールの送信設定が正しく行われていない可能性があります。 「設定」画面の[転送設定]内の各項目が正しく設定されているかどうかを確認してください。 ※サーバー設定の詳細については、ご利用中のインターネットサービスプロバイダ、または SMTP サーバーの管理者にお問い合わせください。
 メール送信が完了しました。送信に失敗したメールが1件あります。 送信内容 : 青木由利様の会社自宅情報 開始日時 : 2016/04/18 11:02:12 終了日時 : 2016/04/18 11:02:13 (1秒) 処理件数 : 1 / 1件 送信済件数 : 0件 失敗件数 : 1件 100% 詳細を表示 メールの送信完了後、自動的に画面を開ける リトライ 終了	転送先アドレスが正しく設定されていない可能性があります。 転送先メールアドレスが正しく設定されているかどうかを確認してください。

※上記の方法で問題が解決されない場合やその他のエラーメッセージが表示される場合は、弊社サポートセンターへお問い合わせください。

8 一覧を操作する



登録した顧客や対応記録、また顧客に販売した商品の履歴は、メインメニューの各一覧アイコンから管理できます。画面を開くには、各一覧アイコンをクリックします。

[顧客一覧]アイコンをクリック

■ 一覧の種類

一覧	説明
顧客一覧	登録された顧客を一覧から検索・参照・編集できます。
対応記録一覧	登録された対応記録を一覧から検索・参照・編集できます。
販売商品一覧	顧客に販売した商品の履歴を一覧形式で表示します。

■ 一覧画面のボタン操作



	顧客一覧	対応記録一覧	販売商品一覧
新規	「顧客登録」画面が表示され、新規に顧客を登録できます。	「対応記録」画面が表示され、新規に対応記録を登録できます。	表示されません。
連続参照	一覧に表示されている順番で「顧客登録」画面を開きます。顧客の詳細情報を参照/編集できます。	一覧に表示されている順番で「対応記録」画面を開きます。対応記録の詳細情報を参照/編集できます。	表示されません。
複製	現在カーソルが当たっている行の顧客情報を複製します。すべて最初から入力するではなく、既存の顧客情報を複製して編集することにより、手間を省くことができます。	現在カーソルが当たっている行の対応記録を複製します。すべて最初から入力するではなく、既存の対応記録を複製して編集することにより、手間を省くことができます。	表示されません。
削除	現在カーソルが当たっている行を削除します。顧客一覧から顧客の削除を行うと、関連した対応記録や販売商品記録も同時に削除されますので、ご注意ください。		
一括入力	選択した顧客(※)を対象とし、顧客情報(分類・選択・対応記録・販売商品・記念日)を一括して入力できます。		
エクスポート	選択した顧客(※)を対象とした顧客情報を、外部ファイルに出力します。		
宛名印刷	選択した顧客(※)を対象に「封筒」や「はがき」、「宛名ラベル」を印刷できます。		
印刷	一覧に表示されている顧客を対象とした「アドレス帳」や「顧客台帳」、「電話帳」等を印刷できます。	一覧に表示されている対応記録を対象とした「対応記録」や「対応記録一覧」、「対応履歴集計表」を印刷できます。	一覧に表示されている販売記録情報を対象とした「販売商品一覧」や各種の「販売商品集計表」を印刷できます。
閉じる	一覧画面を閉じてメインメニューに戻ります。		

※顧客の選択方法については、32ページの「顧客を選択するには」をご覧ください。

◆一覧画面のメニューバーから行う編集操作



一覧画面のメニューバーの[編集]をクリックすると、一覧画面ごとに特殊な機能を呼び出すことができます。

メニューバーの[編集]を
クリック

機能	説明
選択されている顧客を削除する	「顧客一覧」画面から呼び出せます。 [顧選]欄にチェックが付いている顧客を、まとめて削除できます。
現在表示されている対応記録を一括削除	「対応記録一覧」画面から呼び出せます。 現在「対応記録一覧」画面に表示されている対応記録を、まとめて削除できます。
実施区分の一括変更	「対応記録一覧」画面から呼び出せます。 現在「対応記録一覧」画面に表示されている対応記録の実施区分を、一括して変更できます。[済]と[予定]が混在している場合は、すべてを[済]に一括して変更します。[済]のみの場合は、すべてを[予定]に一括して変更します。
現在表示されている販売履歴を一括削除	「販売商品一覧」画面から呼び出せます。 現在「販売商品一覧」画面に表示されている販売商品の履歴を、まとめて削除できます。
列幅を初期値に戻す	一覧の列幅を初期の状態に戻します。詳細については、30 ページの「項目の列幅を初期値に戻すには」をご覧ください。



上記の操作を行うと、操作を元に戻すことができません。一括削除や変更を行う場合は、十分注意して行ってください。

◆一覧に表示される項目を変更するには



一覧画面に表示する項目は、自由に変更することができます。変更するには、各項目の右にある[▼]ボタンをクリックし、リストから選択します。

[▼]ボタンをクリックし、リストから項目を選択すると、一覧に表示される項目が変更されます。

※一覧に何も表示されない列を作りたい場合は、リストの一番下にある空白を選択します。

◆一覧に表示される項目の列幅を調整するには

「顧客一覧」「対応記録一覧」「販売商品一覧」の各一覧画面では、一覧に表示する項目の列幅を調整することができます。列幅を調整することによって、一覧画面上で登録された項目の内容全体を確認できます。



列幅を調整するには、[列幅調整]ボタンをクリックします。

[列幅調整]ボタンをクリックすると、一覧に表示する項目の列幅を調整するためのボタンが表示されます。

[広>>]ボタンをクリックすると、項目の列幅が>>の方向へ広がります。

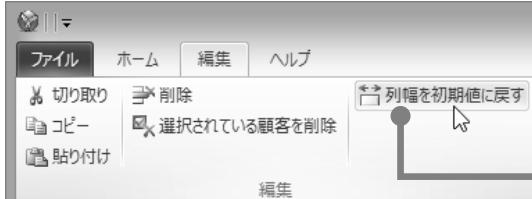
[狭>>]ボタンをクリックすると、項目の列幅が>>の方向へ狭くなります。

広>>	広>>	<<広	<<広	<<広
参考 習選 氏名	顧客コード	住所1	電話番号1	会社名称
<<狭	<<狭		狭>>	狭>>

Memo

「顧客一覧」画面の項目の列幅を調整すると、「多重検索」画面、「複合検索」画面の項目の列幅も連動して調整されます。「対応記録一覧」画面と「販売商品一覧」画面は、それぞれ独立しており、個別に調整できます。

■項目の列幅を初期値に戻すには



一覧画面の各項目の列幅を初期値に戻すには、一覧画面左上の[編集]→[列幅を初期値に戻す]を選択します。

一覧画面左上の[編集]をクリックし、[列幅を初期値に戻す]をクリックします。

顧客一覧	対応記録一覧	販売商品一覧
「顧客一覧」画面の項目の列幅を初期値に戻しても、「対応記録一覧」画面と「販売商品一覧」画面は影響を受けません。	「顧客一覧」画面の項目の列幅を初期値に戻しても、「対応記録一覧」画面と「販売商品一覧」画面は影響を受けません。	「顧客一覧」画面の項目の列幅を初期値に戻しても、「対応記録一覧」画面と「販売商品一覧」画面は影響を受けません。

Memo

「顧客一覧」画面、「対応記録一覧」画面、「販売商品一覧」画面はそれぞれ設定が独立しています。「顧客一覧」画面の項目の列幅を初期値に戻しても、「対応記録一覧」画面と「販売商品一覧」画面は影響を受けません。

◆ 一覧画面から検索を行うには

各種一覧画面上部には、検索のための領域があります。検索機能を利用すると、各種一覧画面から特定の顧客や対応記録、販売商品を簡単に見つけることができます。



通常は[標準検索条件]ボタンが押された状態で表示されます。顧客コードや氏名、電話番号、住所などの基本情報をもとに、顧客を検索できます。

一覧の検索は、画面上部の「検索領域」で行います。

検索条件を入力してキーボードの[Enter]キーを押すと、検索を実行します。



[詳細検索条件]ボタンをクリックすると、顧客情報として登録されている、より詳細な条件を指定して検索を行えます。([詳細検索条件]ボタンは「販売商品一覧」画面では表示されません)

検索条件を入力してキーボードの[Enter]キーを押すと、検索を実行します。

条件を指定してキーボードの[Enter]キーを押すと、指定した条件に該当する顧客が一覧に表示されます。

■ すべての情報を表示するには



検索条件をクリアして一覧にすべての情報を表示するには、[全て表示]ボタンをクリックします。

[全て表示]ボタンを
クリック

◆顧客を選択するには

The screenshot shows a Windows application window titled '顧客一覧 - カラガネできる解説5.5'. The main area displays a list of customers with columns for Name, Address, Phone Number, Company Name, Capital, and Selection (選択). A checkbox column labeled '顧客選択' is present in the fourth column. A legend at the bottom right indicates that a checked box means 'Customer selected'.

顧客名	顧客コード	住所	電話番号	会社名	資本金	選択
木 由利	00012	高松市大野町1-1-1	087-XXXX-XXXX	株式会社 フジタ	¥100,000,000	<input checked="" type="checkbox"/>
山 ひろみ	00005	高松市吉田町1-1-1	043-111-XXXX	(株)△ミーリック	¥20,000,000	<input type="checkbox"/>
部 幸子	00020	岩国市今治町1-1-1	083-XXXX-XXXX	(株)○△エフ明	¥5,000,000	<input type="checkbox"/>
酒 侑子	00095	津野町寺尾町1-1-1	087-99-XXXX	海南家具製造株式	¥0	<input type="checkbox"/>
田 信也	00051	市原市大庭1-1-1	042-55-XXXX	(有)送信通	¥15,000,000	<input type="checkbox"/>
田 真司	00080	町田市南つばし野1-1-1	042-99-XXXX	(有)APT企画	¥8,000,000	<input type="checkbox"/>
田 隆弘	00011	福岡市東区宮内町1-1-1	092-XXXX-XXXX	(株)△ア産業	¥8,000,000	<input type="checkbox"/>
井 伸	00017	静岡市上種町1-1-1	051-43-XXXX	(株)△ア産業	¥8,000,000	<input type="checkbox"/>
川 伸備	00203	福岡市千種区千種1-1-1	082-95-XXXX	株式会社 SK開発	¥10,000,000	<input type="checkbox"/>
田 芳夫	00046	福岡市東区中田東1-1-1	045-111-XXXX	(株)ロゴエーゼン	¥10,000,000	<input type="checkbox"/>
田 一音	00050	多摩市落合	03-XXXX-XXXX	(株)加賀園	¥10,000,000	<input type="checkbox"/>
川 裕里	00019	横浜市港北区東戸塚3-1-1	045-22-XXXX	(株)竹中企画	¥10,000,000	<input type="checkbox"/>
川 勇一郎	00063	川口市立花木元町1-1-1	049-23-XXXX	(株)上ノ開発	¥15,000,000	<input type="checkbox"/>
川 上 伸道	00016	名古屋市中区稲葉地町	052-XXXX-XXXX	(株)海経工業	¥8,000,000	<input type="checkbox"/>
川 伸一郎	00053	岐阜市昭和町1-1-1	052-11-XXXX	(株)川上工業	¥10,000,000	<input type="checkbox"/>
豊 丈文	00071	豊橋市御手町5-5	052-67-XXXX	(株)海経工業	¥8,000,000	<input type="checkbox"/>
豊 二郎	00092	鹿児島市鹿児島町1-1-1	098-08-XXXX	株式会社 三人衆	¥0	<input type="checkbox"/>

「顧客一覧」画面の左下にある[全選択]ボタンをクリックすると、現在一覧に表示されている顧客を一括して選択できます。(検索条件によって絞り込まれている場合は、絞り込まれて現在一覧に表示されている顧客のみが選択されます)

また[全選択]ボタンの右にある[全解除]ボタンをクリックすると、現在選択されている顧客すべての選択状態を解除できます。(検索条件によって絞り込まれている場合は、絞り込まれて現在一覧に表示されている顧客のみが解除されます)

[顧選]欄の□にチェックを付け
顧客を選択



「対応記録一覧」と「販売商品一覧」で[顧選]欄にチェックを付けた場合でも、チェックを付けた行の対応記録や販売商品が選択されるわけではありません。該当する顧客が選択された状態になります。

■一覧で選択した顧客の選択状態を自動的に解除しないようにするには

一覧で選択した顧客は、「顧客一覧」画面を閉じる際に、選択状態が自動的に解除されます。自動的に解除されないようにするには、「設定」画面から設定を変更します。[一覧設定]内にある[一覧で選択された顧客を、画面を閉じるときに自動的にクリアする]のチェックを外します。詳しくは、53ページの「入力設定」をご覧ください。

■一覧で選択した顧客だけを対象に顧客情報の印刷を行うには

一覧画面から顧客台帳等の顧客情報を印刷する場合、一覧画面に表示されている顧客が印刷の対象となります。そのため、特定の顧客だけを対象に顧客情報の印刷を行うには、対象となる顧客だけが一覧に表示されている必要があります。以下の方法で、顧客を選択できます。

- 操作の対象となる顧客の[顧選]欄の□にチェックを付け、顧客が選択された状態にします。
- 一覧画面上部の検索領域にある[詳細検索条件]ボタンをクリックします。
- [顧客選択]欄で[Yes]を選択すると、「検索条件が変更されました。選択のチェックをすべて解除しますか?」とメッセージが表示されるので、[いいえ]を選択します。
- [顧選]欄にチェックの付いた顧客のみが表示されていることを確認します。(画面下部の表示件数と顧客選択件数が一致していることをご確認ください)

※一覧画面から宛名印刷を行う場合は、[顧選]欄にチェックが入っている顧客が印刷の対象となります。

◆ 一覧を並べ替えるには



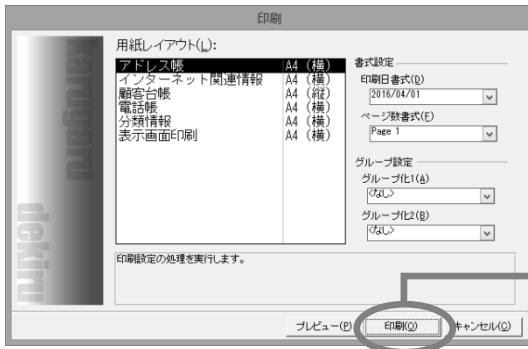
各一覧画面のボタン領域のすぐ上にある[並び順]の項目を変更すると、一覧を並べ替えることができます。

[並び順]の右にある[▼]ボタンをクリックして表示されるリストから選択します。[並び順]のリストは、一覧画面の種類によって異なります。

[▼]ボタンをクリックして
リストから選択

◆ 一覧から印刷するには

「顧客一覧」「対応記録一覧」「販売商品一覧」の各一覧画面から印刷をするには、各一覧画面右下にある[印刷]ボタンをクリックします。（一覧で選択した顧客だけを対象に顧客情報の印刷をしたい場合は、あらかじめ顧客を絞り込んでおく必要があります。詳細は、32 ページの「一覧で選択した顧客だけを対象に顧客情報の印刷を行うには」をご覧ください）



「印刷」画面が表示されるので、用紙レイアウトや書式の設定、グループ設定等を行います。

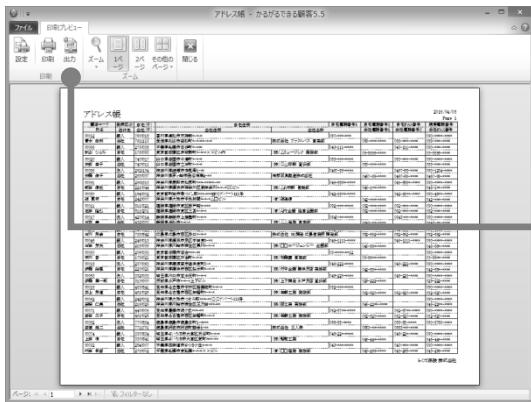
最後に[印刷]ボタンをクリックして、印刷を実行します。

[印刷]ボタンをクリック

■ 印刷設定

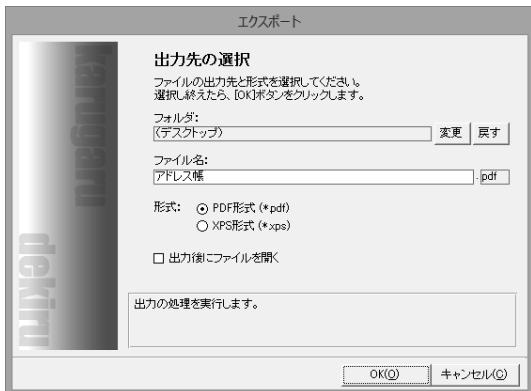
ボタン	説明
用紙レイアウト	用紙の種類を選択します。開いている一覧の種類に従って、選択できる用紙の種類は異なります。
書式設定	[印刷日書式]では、印刷日の書式を設定します。右の[▼]ボタンをクリックして表示される日付の書式から選択します。 [ページ数書式]では、ページ番号の書式を設定します。右の[▼]ボタンをクリックして表示されるページ数の書式から選択します。
グループ設定	[グループ化 1]に右の[▼]ボタンをクリックして項目を設定すると、その項目の内容ごとの印刷が行われます。例えば「都道府県」を設定すると、都道府県別に顧客を印刷できます。 [グループ化 2]に右の[▼]ボタンをクリックして項目を設定すると、その項目の内容ごとの印刷が行われます。[グループ化 1]と[グループ化 2]の両方に項目が設定されている場合は、[グループ化 1]の項目が優先的にグループ化され、次に[グループ化 2]の項目でグループ化されます。

■ PDF 形式のファイルとして出力するには



一覧をPDFファイルとして出力するには、「印刷プレビュー」画面左上に表示される[出力]ボタンをクリックします。

[出力]ボタンをクリック



「出力先の選択」画面が表示されます。

ファイルの出力先となるフォルダーと、出力形式(PDF・XPS)の選択を行います。必要に応じてファイル名を変更してください。

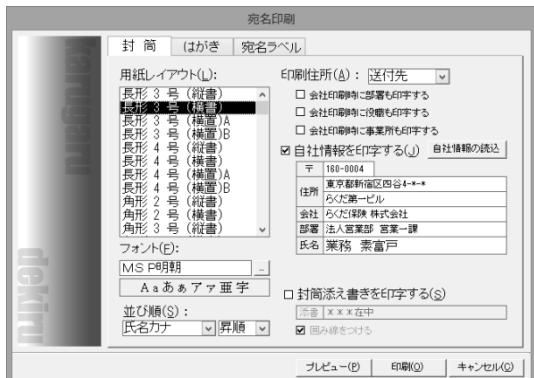
選択が終わったら、[OK]ボタンをクリックして出力を実行します。

[出力後にファイルを開く]にチェックを付けておくと、出力後、自動的に出力されたファイルを表示します。



PDF形式のファイルとして出力できる用紙は、普通紙に印刷するタイプの用紙のみとなります。封筒・はがき・宛名ラベルなど、宛名印刷の場合、[出力]ボタンは表示されません。

9 封筒・はがき・宛名ラベルを印刷する



「宛名印刷」画面では、印刷物の種類ごとに印刷のための設定項目が異なります。

■ 封筒 / はがき

ボタン	説明
用紙レイアウト	用紙の種類を選択します。
フォント	フォントを選択します。右の[□]ボタンをクリックすると、フォントの選択画面が表示されます。(フォントサイズは指定不可。自動調整されます)
並び順	右の[▼]ボタンをクリックし、リストから宛名印刷を行う順番を選択します。
印刷住所	「送付先」と「自宅」の二種類を選択できます。 「送付先」を設定した場合は、送付先が「自宅」になっている顧客は自宅の住所を、送付先が「会社」になっている顧客は会社の住所を印刷します。 [会社印刷時に部署も印字する]にチェックを付けると、所属部署を印字します。 [会社印刷時に役職も印字する]にチェックを付けると、役職名を印字します。 [会社印刷時に事業所も印字する]にチェックを付けると、会社名の後に事業所を印字します。 「自宅」を設定した場合は、送付先の設定にかかわらず、必ず自宅の住所が印字されます。通常は「送付先」を設定します。
自社情報を印字する	チェックを付けると、下部に自社情報が印字されます。[自社情報の読込]ボタンをクリックすると、「設定」画面に登録されている自社情報が表示されます。
封筒添え書きを印字する※	封筒に、「〇〇在中」などの添え書きを設定できます。[添書]欄に入力した文字が印字されます。 [囲み線をつける]にチェックを付けると、添え書きに囲み線が付いた状態で印字されます。

※封筒印刷時にのみ表示されます。



はがき等を印刷する際には、用紙サイズや給紙トレイなどの設定を別途行う必要があります。
用紙サイズや給紙トレイの設定は、プレビュー画面から行うことができます。

■ 宛名ラベル

ボタン	説明
用紙レイアウト	用紙の種類を選択します。
フォント	フォントを選択します。右の[□]ボタンをクリックすると、フォントの選択画面が表示されます。(フォントサイズは指定不可。自動調整されます)
印刷住所	「送付先」と「自宅」の二種類を選択できます。 「送付先」を設定した場合は、送付先が「自宅」になっている顧客は自宅の住所を、送付先が「会社」になっている顧客は会社の住所を印刷します。 [会社印刷時に部署も印字する]にチェックを付けると、所属部署を印字します。

	[会社印刷時に役職も印字する]チェックを付けると、役職名を印字します。 [会社印刷時に事業所も印字する]にチェックを付けると、会社名の後に事業所を印字します。 [顧客コードを印字する]にチェックを付けると、顧客コードを印字します。 「自宅」を設定した場合は、送付先の設定にかかわらず、必ず自宅の住所が印字されます。通常は「送付先」を設定します。
1枚のシートに同一の顧客を印刷	チェックを付けると、一枚のシートすべての宛名ラベルに対し、一人の顧客だけを印刷します。 [印刷開始位置]欄では、宛名ラベルの印刷開始位置を指定します。通常は先頭から印刷を行うので「1」が設定されています。 ※一度利用した宛名ラベルの再利用は、プリントトラブルの原因となりますのでおやめください。
並び順	右の[▼]ボタンをクリックし、リストからラベル印刷を行う順番を選択します。

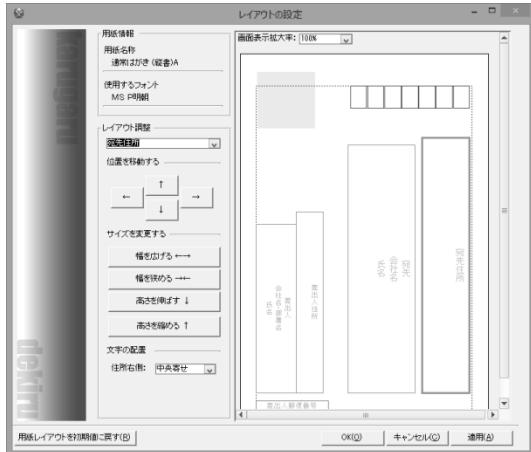
◆ 宛名印刷時にレイアウトを調整するには

本製品では、宛名印刷の印刷時に、住所や氏名等のレイアウトを自由に調整して印刷を行うことが可能です。



レイアウトの調整を行うには、「プレビュー」画面で[レイアウト]ボタンをクリックします。

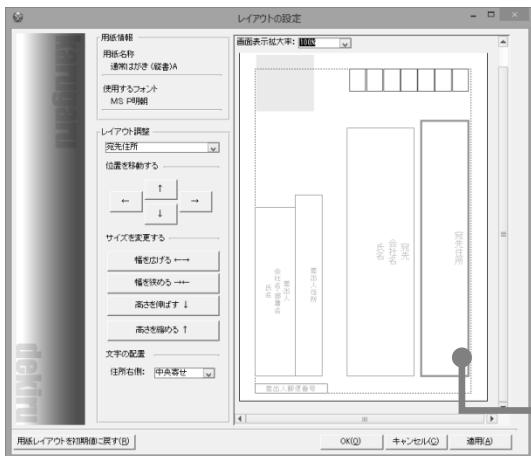
[レイアウト]ボタンを
クリック



「レイアウトの設定」画面が表示されます。

画面右に用紙レイアウトのイメージが表示され、画面左のボタンを操作してレイアウトの調整を行います。

① レイアウトを調整したい項目を選択する



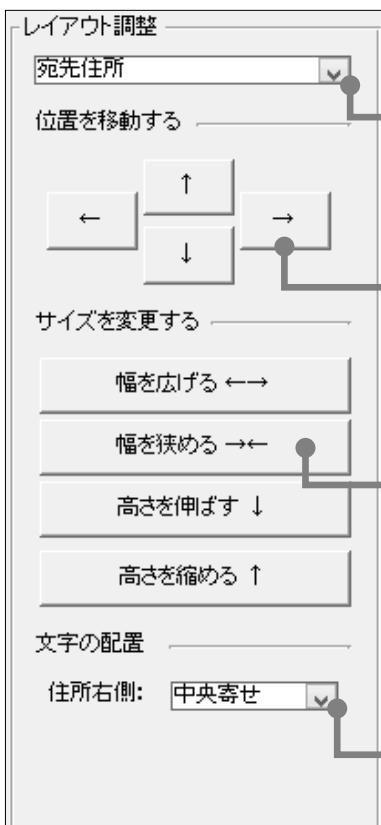
画面右の用紙レイアウトに表示されている水色の枠内に、宛先住所は宛名等の項目が印刷されます。(印刷される内容は灰色の文字で表示されています)

レイアウトの調整を行うには、調整したい項目を選択してから画面左のボタンで調整します。

調整したい項目を選択するには、水色の枠を直接クリックして選択します。選択された項目は、太い水色の枠で表示されます。

レイアウトを調整したい項目を直接クリックして選択します。

② レイアウトを調整する



調整したい項目を選択したら、画面左のボタンでレイアウトの調整を行います。

選択した印刷項目が表示されます。
右の[▼]ボタンをクリックして調整対象となる項目を変更することもできます。

[←]・[↑]・[↓]・[→]の各ボタンをクリックして、印刷位置の微調整を行います。水色の枠が、上下左右に移動します。

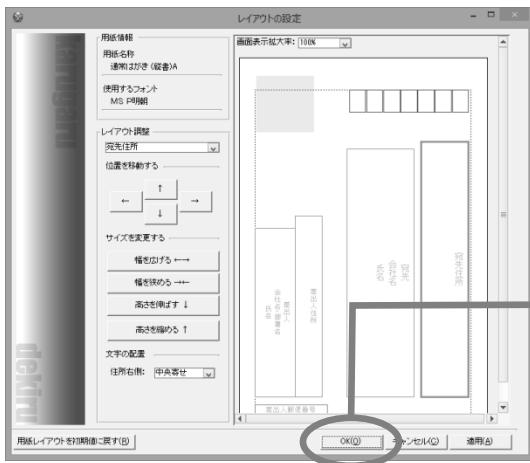
印刷項目のサイズを調整します。水色の枠の幅を広げたり、高さを縮めたりできます。
印刷項目のサイズを調整することで、文字サイズも自動的に調整されます。

印刷時の文字の配置(水色の枠内のどこに文字を印刷するか)を選択します。この項目は住所の項目が選択されている場合にのみ表示されます。

Memo

項目の印刷位置やサイズは、画面右の用紙レイアウトの点線内(……)でのみ行うことができます。また、画面上部の[画面表示拡大率]で画面を拡大することによって、より詳細なレイアウト調整が行いやすくなります。

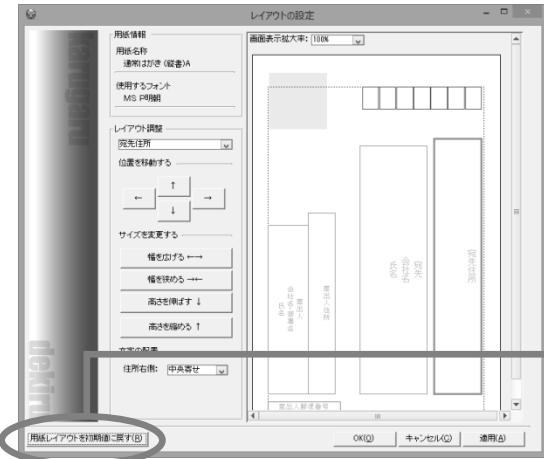
③ レイアウトの調整を実行する



レイアウトの調整を行い、印刷位置やサイズが決定したら、画面右下の[OK]ボタンをクリックして調整を実行します。

[OK]ボタンをクリックして、レイアウト調整を実行します。

■ レイアウトの状態を最初の状態に戻すには



画面左下の[用紙レイアウトを初期値に戻す]ボタンをクリックすると、レイアウトの状態を最初の状態に戻します。

[用紙レイアウトを初期値に戻す]ボタンをクリックします。

Memo

宛名を会社名とし、「御中」を付けて印刷したい場合



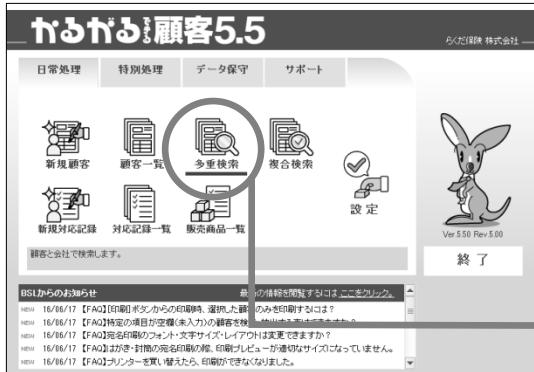
宛名を会社名とし、「御中」を付けて印刷したい場合の宛名印刷は、「会社マスター」画面から行います。

「会社マスター」画面から宛名印刷を行いたい会社名を選択し、画面右下の[宛名印刷]ボタンをクリックします。

会社名を宛名として印刷すると、自動的に「御中」が付けられます。

[宛名印刷]ボタンをクリック

10 多重検索を行う



多重検索では、1つの項目に対し、複数の検索条件を設定することができます。例えば、都道府県が「東京都」と「神奈川県」と「千葉県」の顧客等、複数の検索を一度の操作で行うことができます。

「多重検索」画面を表示するには、メインメニューの[日常処理]タブ内にある[多重検索]アイコンをクリックします。

[多重検索]アイコンをクリック

■ 多重検索画面のボタン操作



ボタン	説明
削除	現在カーソルが当たっている行の顧客を削除します。
一括入力	選択した顧客(※)を対象とした対応記録を一括して入力できます。対応記録の他に販売商品や分類、選択、記念日も一括して入力できます。
エクスポート	選択した顧客(※)を対象とした顧客情報を、外部ファイルに出力します。
宛名印刷	選択した顧客(※)を対象に「封筒」や「はがき」、「宛名ラベル」を印刷できます。
印刷	一覧に表示されている顧客を対象とした「アドレス帳」や「顧客台帳」、「電話帳」等を印刷できます。
閉じる	「多重検索」画面を閉じてメインメニューを表示します。

※顧客の選択方法については、32ページの「顧客を選択するには」をご覧ください。

◆ 多重検索を実行する



多重検索の検索条件を設定して実行するには、「多重検索」画面上部の[条件の作成]ボタンをクリックします。

[条件の作成]ボタンを
クリック



[条件の作成]ボタンをクリックすると、「検索条件指定」画面が表示されます。

■ 検索条件指定画面のボタン操作

ボタン	説明
削除	「検索条件指定」画面に表示されている条件をすべて削除し、「多重検索」画面に戻ります。
行削除	現在カーソルが当たっている行の条件を削除します。
保存	「検索条件指定」画面で設定した検索条件を保存します。保存すると、「多重検索」画面の上部にある[条件の呼出]ボタンをクリックして条件を呼び出すことができるようになります。
実行	多重検索を実行します。
閉じる	「検索条件指定」画面を閉じます。

① 連結条件を指定する

条件が複数（行）ある場合に、それぞれの条件をどのような形式で結び付けるかを指定します。連結条件の指定は、[連結条件]欄の右にある[▼]ボタンをクリックし、表示される[先頭]、[または]、[かつ]の三種類から選択します。この際、一番上の行の連結条件は必ず[先頭]にしておく必要があります。また、先頭行以外の行は、[または]、[かつ]のどちらかを指定する必要があります。

■ 連結条件

条件	説明
先頭	検索条件の先頭行(一番上の行)に設定します。
または	複数の検索条件のいずれか一方を満たしている場合に抽出するよう設定できます。 例えば、上の行に「都道府県」が「東京都」を含む文字を抽出する条件を設定し、次の行に「都道府県」が「神奈川県」を含む文字を抽出する条件に設定した場合、「または」を設定しておくと、「都道府県」が「東京都」と「神奈川県」の顧客が抽出されます。
かつ	複数の検索条件のいずれも満たしている時に抽出したい場合に設定します。 例えば、上の行に「都道府県」が「東京都」を含む文字を抽出する条件を設定し、次の行には「住所 1」に「新宿区」を含む文字を抽出する条件に設定した場合、「かつ」を設定しておくと、「都道府県」が「東京都」の顧客のうち、住所が「新宿区」の顧客のみ抽出されます。

② 検索対象となる項目名をリストから選択する



[項目名]欄の右にある[▼]ボタンをクリックし、顧客と会社の項目名のリストから検索に使用する項目を選択します。

③ 検索条件の値を入力する



選択した[項目名]に対する検索条件の値を入力します。

[性別]、[顧客選択]、[終了]などの特殊な項目の場合には、入力補助としてカーソルが[値]欄のところに移動すると「検索条件」画面が表示されます。[値]欄の右にある[補助]ボタンをクリックしても「検索条件」画面を表示できます。

④ 検索条件となる符号を選択する

[値]欄を抽出するための検索条件となる符号を指定します。

[符号]欄の右にある[▼]ボタンをクリックし、表示されるリストから検索条件を指定します。

■ 符号の説明

符号	説明
と等しい	[値]欄に入力されたものと等しいデータを抽出します。(=)
と等しくない	[値]欄に入力されたものと等しくないデータを抽出します。(≠)
より大きい	[値]欄に入力されたものより大きいデータを抽出します。(〈)
	数値データの項目に使用してください。
より小さい	[値]欄に入力されたものより小さいデータを抽出します。(〉)
	数値データの項目に使用してください。
以上	[値]欄に入力されたもの以上のデータを抽出します。(≤)
	数値データの項目に使用してください。
以下	[値]欄に入力されたもの以下のデータを抽出します。(≥)
	数値データの項目に使用してください。
を含む	[値]欄に入力された文字を含むデータを抽出します。文字データの項目に使用してください。
を含まない	[値]欄に入力された文字を含まないデータを抽出します。文字データの項目に使用してください。
で始まる	[値]欄に入力された文字で始まるデータを抽出します。文字データの項目に使用してください。
で終わる	[値]欄に入力された文字で終わるデータを抽出します。文字データの項目に使用してください。

⑤ [実行]ボタンをクリックする

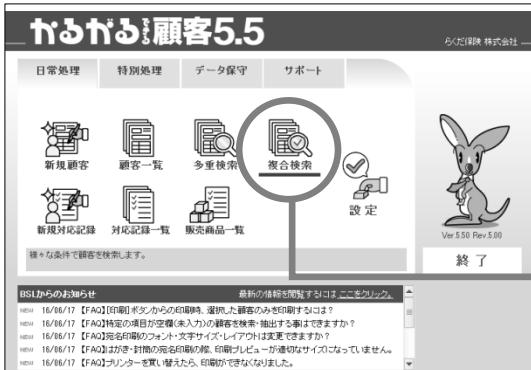


すべての条件を入力し終えたら、[実行]ボタンをクリックします。

その後、[閉じる]ボタンをクリックして「多重検索」画面に戻ると、検索条件に該当する顧客が絞り込まれた状態で表示されます。

[実行]ボタンをクリック

11 複合検索を行う



複合検索では、顧客情報、会社情報、対応記録情報、販売商品情報のすべての条件を組み合わせて顧客を抽出できます。

複合検索を行うには、メインメニューの[日常処理]タブにある[複合検索]アイコンをクリックします。

[複合検索]アイコンをクリック



特定の顧客情報を表示させるには、検索領域で検索条件を指定してから画面上部の[検索実行]ボタンをクリックします。

[検索実行]ボタンをクリック

■ メニューバーの操作

「複合検索」画面上にあるメニューバーの[編集]をクリックすると、顧客の表示操作を行うことができます。

操作	説明
選択された顧客のみ表示	[顧選]欄にチェックが付いている顧客のみを表示します。
表示外選択の解除	検索を実行した結果として一覧画面に表示されていない顧客の[顧選]欄のチェックを外します。
顧客選択状態の反転	顧客選択にチェックが入っているものと入っていないものを反転させます。顧客選択されていたもののチェックが外れ、顧客選択されていなかったものにチェックが付きます。(現在顧客の一覧に表示されていないものも含め、すべての顧客が対象となります)

■ 上部ボタンの操作

「複合検索」画面の上部に位置する各ボタンでは以下の操作を行なうことができます。

ボタン	説明
全て表示	すべての顧客を表示します。
検索実行	複合検索を実行します。

■ 条件指定画面の切り替えタブ

条件指定の入力画面は、[基本情報]、[顧客詳細]、[会社情報]、[会社詳細]、[対応記録]、[販売商品]のタブに分かれています。「複合検索」画面の上部にあるタブで条件画面を切り替えます。

■ 顧客選択

「複合検索」画面のボタン領域（画面下部）の上に位置する[全選択]、[全解除]の各ボタンでは以下の操作を行うことができます。

ボタン	説明
全選択	検索を実行した結果として一覧画面に表示されているすべての顧客に対して、顧客選択のチェックを付けます。
全解除	検索を実行した結果として一覧画面に表示されているすべての顧客に対して、顧客選択のチェックを外します。

■ 件数表示

「複合検索」画面のボタン領域（画面下部）の上に位置する灰色の領域には、次の情報が表示されます。

項目	説明
総件数	現在使用しているデータファイルに登録されている全顧客数を表示します。
表示件数	検索を実行した結果として一覧画面に表示されている顧客数を表示します。
選択総数	[顧選]欄にチェックが付いている顧客数を表示します。[表示内選択数]と[表示外選択数]の合計になります。
表示内選択数	検索を実行した結果として一覧画面に表示されている顧客のうち、[顧選]欄にチェックが付いている顧客数を表示します。
表示外選択数	検索を実行した結果として一覧画面に表示されていない顧客のうち、[顧選]欄にチェックが付いている顧客数を表示します。

■ 下部ボタンの操作

「複合検索」画面の下部に位置する各ボタンでは以下の操作を行うことができます。

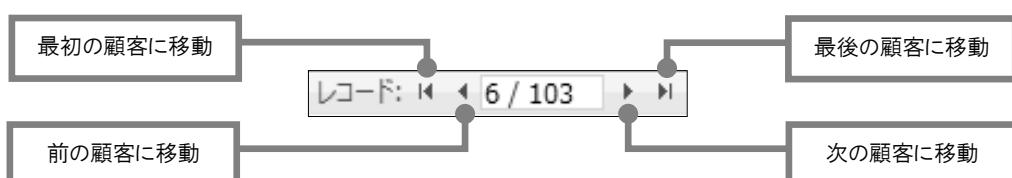
新規	
連続参照	
複製	
削除	
一括入力	
エクスポート	
宛名印刷	
印刷	
閉じる	

ボタン	説明
新規	「顧客登録」画面が表示され、新規に顧客を登録できます。
連続参照	一覧に表示されている順番で「顧客登録」画面を開きます。顧客の詳細情報を参照/編集できます。連続参照するためには「顧客登録」画面を切り替える方法については、下記を参照してください。
複製	現在カーソルが当たっている行の顧客情報を複製します。すべて最初から入力するのではなく、既存の顧客登録を複製して編集することにより、手間を省くことができます。
削除	現在カーソルが当たっている行の顧客を削除します。顧客を削除すると、関連した対応記録や販売商品記録も同時に削除されますので、ご注意ください。
一括入力	選択した顧客(※)を対象とした対応記録を一括して入力できます。対応記録の他に販売商品や分類、選択、記念日も一括して入力することもできます。
エクスポート	選択した顧客(※)を対象とした顧客情報を、外部ファイルに出力します。
宛名印刷	選択した顧客(※)を対象に「封筒」や「はがき」、「宛名ラベル」を印刷できます。
印刷	一覧に表示されている顧客を対象とした「アドレス帳」や「顧客台帳」、「電話帳」等を印刷できます。
閉じる	「複合検索」画面を閉じてメインメニューに戻ります。

※顧客の選択方法については、32ページの「顧客を選択するには」をご覧ください。

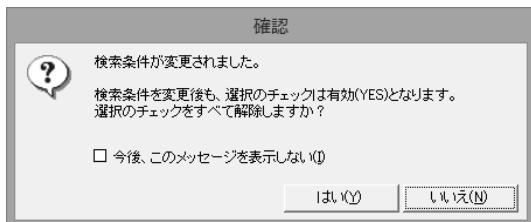
連続参照するために「顧客登録」画面を切り替えるには

「顧客登録」画面左下のレコードボタンを操作して切り替えます。



◆複合検索を実行するには

複合検索の検索条件を設定して実行するには、「複合検索」画面で条件を設定し、[検索実行]ボタンをクリックします。



[検索実行]ボタンをクリックしたときに、次のメッセージが表示される場合があります。

新しい検索条件を入力した際に、以前の検索条件で選択されていた顧客選択を解除するかどうかを確認する画面です。

選択された顧客を解除する場合は[いいえ]を、解除しない場合は[いいえ]をクリックします。

■ 条件を指定する方法

形式	説明									
テキストボックス形式 (基本情報タブ内で表示)	顧客コードやフリガナなどを入力します。ここに入力した文字や数字を含むものを抽出します。 <table border="1"><tr><td>顧客コード</td><td></td></tr><tr><td>氏名</td><td></td></tr><tr><td>会社</td><td></td></tr></table>	顧客コード		氏名		会社				
顧客コード										
氏名										
会社										
コンボボックス形式 (顧客詳細タブ内で表示)	所属部署や役職など、入力欄の横に[▼]ボタンがある項目です。 この形式では、[▼]ボタンをクリックすると抽出条件をリストの中から選択できます。 <table border="1"><tr><td>所属部署</td><td>▼</td></tr><tr><td>役職</td><td>▼</td></tr><tr><td>職種</td><td>▼</td></tr></table>	所属部署	▼	役職	▼	職種	▼			
所属部署	▼									
役職	▼									
職種	▼									
日付・時刻形式 (対応履歴タブ内で表示)	登録日や時刻などの入力項目です。この形式では開始日、開始時間と終了日、終了時間と終了時間を指定できます。左の欄に開始日、開始時間を入力します。右の欄に終了日、終了時間を入力します。どちらか一方の入力だけでも検索は可能です。日付は年月日を「/」で区切って入力します。2016年6月16日を入力するには「2016/06/16」と入力します。または、入力項目をダブルクリックするか、入力欄にカーソルが当たっている状態で「Home」キーを押すとカレンダーが表示されますので、カレンダーから直接日付を入力することもできます。時刻は時分秒を「:」や「.」で区切って入力します。11時59分30秒を入力するには「11:59:30」と入力します。秒は省略可能です。 <table border="1"><tr><td>日付</td><td></td><td>～</td><td></td></tr><tr><td>時刻</td><td></td><td>～</td><td></td></tr></table>	日付		～		時刻		～		
日付		～								
時刻		～								
件数・金額形式 (販売商品タブ内で表示)	件数や金額合計などの入力項目です。この形式では、指定した数値よりも大きい、少ない、一致するといった抽出条件を設定できます。 <table border="1"><tr><td>数量</td><td>一致する (=)</td><td>▼</td></tr><tr><td>金額合計</td><td>一致する (=)</td><td>▼</td></tr><tr><td>件数</td><td>一致する (=)</td><td>▼</td></tr></table>	数量	一致する (=)	▼	金額合計	一致する (=)	▼	件数	一致する (=)	▼
数量	一致する (=)	▼								
金額合計	一致する (=)	▼								
件数	一致する (=)	▼								

◆ 複合検索が可能な顧客の抽出例

複合検索でできる抽出条件のいくつかを紹介します。

組み合わせ方により、より複雑な抽出条件を設定できますが、基本的な3つのパターンを取り上げます。

■ 単独条件

一つの条件だけを設定して顧客を抽出するには、該当する条件の欄に抽出条件を入力後、[検索実行]ボタンをクリックします。

例えば、顧客コードが「0001」の人を探す場合には、[基本情報]タブをクリックし、[顧客コード]欄に「0001」と入力します。但し、複合検索は通常、指定した文字を含む顧客を全て抽出しますので、顧客コードに「0001」の文字、数字を含む顧客が全て一覧画面に表示されます。「0001」だけを表示したい場合には、多重検索をご利用ください。

■ 複数条件

二つ以上の条件を基に顧客を抽出するには、抽出したい条件の欄全てに入力後、[検索実行]ボタンをクリックします。複数条件では、指定した条件を全て満たす顧客のみが表示されます。

例えば、①男性で、②特定の期間に商品を販売した人（特定の期間に販売履歴がある人）を抽出するには、[基本情報]タブをクリックし、性別から男性を選択します。さらに、[販売商品]タブをクリックし、販売日に指定する期間を入力します。

■ 同一の項目で複数条件

同じ項目に二つ以上の条件を満たす顧客を抽出するには、顧客選択欄のチェック機能を用いて抽出を行います。例えば、販売商品のうち「商品A」と「商品B」のどちらかを購入した顧客を抽出する場合には、以下の手順で行います。

1. 最初の条件を指定します。

[販売商品]タブをクリックし、[商品名称]欄に「商品A」と入力して、[検索実行]ボタンをクリックします。一覧画面には、「商品A」を購入した顧客が表示されます。

2. [顧選]欄にチェックを付けます。

画面左下の[全選択]ボタンをクリックします。表示されている顧客の[顧選]欄にチェックがついていることを確認します。

3. ニつ目以降の条件を指定します。

[商品名称]欄を「商品A」から「商品B」に変更し、[検索実行]ボタンをクリックします。選択を解除するかどうかの確認メッセージが表示されるので、[いいえ]を選択します。

一覧画面には「商品B」を購入した顧客が表示されます。

4. [顧選]欄にチェックを付けます。

[全選択]ボタンをクリックします。（さらに設定したい条件がある場合は、手順3からの作業を繰り返します）

5. 選択されている顧客のみを表示します。

「複合検索」画面上部のメニューにある[編集]をクリックし、リストから[選択された顧客のみを表示]を選択します。選択を解除するかどうかの確認メッセージが表示されるので、[いいえ]を選択します。

画面上には、「商品A」と「商品B」のどちらかを購入した顧客が表示されます。

12 マスタを操作する



登録された会社や商品の台帳は、メインメニューの[特別処理]タブ内にある[会社マスター]アイコンや[商品マスター]アイコンをクリックして管理します。

開きたいマスターのアイコンを
クリック

■ マスター画面のボタン操作



	会社マスター	商品マスター
新規	「会社登録」画面を表示して新規の登録を行います。	「商品登録」画面を表示して新規の登録を行います。
連続参照	マスターに表示されている順番で「会社登録」画面を開きます。会社の詳細情報を参照/編集できます。 連続参照するためには、「会社登録」画面を切り替える方法については、43 ページの「連続参照するためには」をご覧ください。	マスターに表示されている順番で「商品登録」画面を開きます。商品の詳細情報を参照/編集できます。 連続参照するためには、「商品登録」画面を切り替える方法については、43 ページの「連続参照するためには」をご覧ください。
複製	現在カーソルが当たっている行の会社情報を複製します。すべて最初から入力するのではなく、既存の情報を複製して編集することにより、手間を省くことができます。	表示されません。
削除	現在カーソルが当たっている会社を削除します。削除する会社が顧客情報と結び付いている場合、その結び付きも解除されます。	現在カーソルが当たっている商品を削除します。削除する商品が販売商品の履歴内にある場合は、削除できません。
宛名印刷	選択した会社(※)を対象に「封筒」や「はがき」、「宛名ラベル」を印刷できます。	表示されません。
印刷	現在表示されている会社の「アドレス帳」や「会社台帳」を印刷できます。	現在表示されている商品の「商品一覧」を印刷できます。
閉じる	マスター画面を閉じてメインメニューに戻ります。	

※会社の選択方法は顧客の選択方法と同じです。詳しくは、32 ページの「顧客を選択するには」をご覧ください。

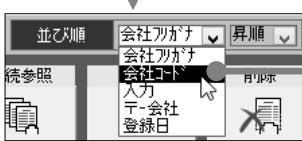
◆ 会社や商品の検索を行うには

マスター画面上部には、検索のための領域があります。検索機能を利用すると、マスターから特定の会社や商品を簡単に見つけることができます。

「会社マスター」画面では通常、[標準検索条件]ボタンが押された状態で表示されますが、[詳細検索条件]ボタンをクリックすると、より詳細な条件を指定して検索を行えます。

また、[全て表示]ボタンをクリックすると、検索条件をクリアして一覧に全ての情報を表示します。

◆ マスタを並べ替えるには

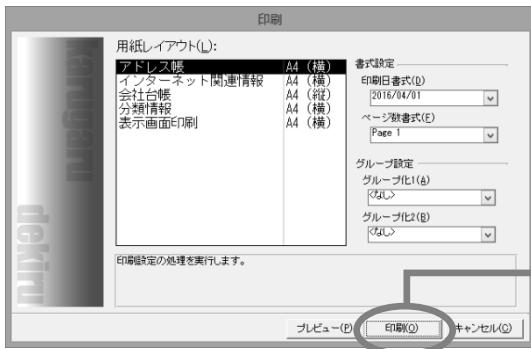


マスタ画面のボタン領域の上にある[並び順]を変更することによって、マスタの内容を並べ替えることができます。

[並び順]の右にある[▼]ボタンをクリックして表示されるリストから選択します。並び順のリストは、マスタの種類によって異なります。

◆ マスタから印刷するには

「会社マスター」「商品マスター」の各マスター画面から印刷をするには、各マスター画面右下にある[印刷]ボタンをクリックします。



「印刷」画面が表示されるので、用紙レイアウトや書式の設定、グループ設定等を行います。

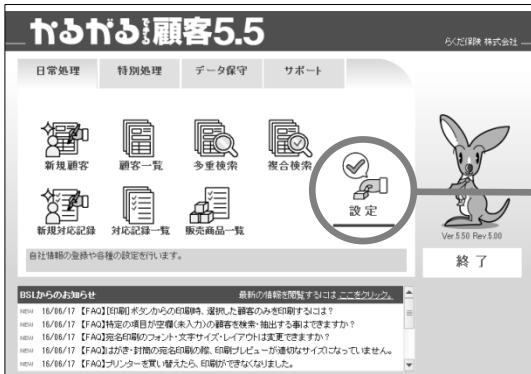
最後に[印刷]ボタンをクリックして、印刷を実行します。

■ 印刷設定

ボタン	説明
用紙レイアウト	用紙の種類を選択します。開いているマスターの内容によって、選択可能な用紙の種類は異なります。
書式設定	[印刷日書式]では、印刷日の書式を設定します。右の[▼]ボタンをクリックして表示される日付の書式から選択します。 [ページ数書式]では、ページ番号の書式を設定します。右の[▼]ボタンをクリックして表示されるページ数の書式から選択します。
グループ設定	[グループ化 1]に右の[▼]ボタンをクリックして項目を設定すると、その項目の内容ごとの印刷が行われます。例えば「都道府県」を設定すると、都道府県別に会社を印刷できます。 [グループ化 2]に右の[▼]ボタンをクリックして項目を設定すると、その項目の内容ごとの印刷が行われます。[グループ化 1]と[グループ化 2]の両方に項目が設定されている場合は、[グループ化 1]の項目が優先的にグループ化され、次に[グループ化 2]の項目でグループ化されます。

13 各種の設定を行う

本製品は、「設定」画面において入力画面の動作や印刷方法など、さまざまな設定を細かく指定できます。またデータファイルのバックアップや復元などのメンテナンスを行う機能も用意されています。必要に応じて下記の設定機能を使用して操作してください。



設定画面を開くには、メインメニューの[設定]アイコンをクリックします。

[設定]アイコンを
クリック

■ 「設定」画面

はじめに左側のリストから、設定項目を選択します。
設定項目を選択すると、右の設定内容が切り替わります。

設定内容を指定します。左側のリストで選択された設定項目に応じて、内容が切り替わります。

右の各設定内容にマウスのカーソルを移動すると、設定内容の説明が表示されます。設定内容を指定する際の参考にできます。

最後に[OK]ボタンをクリックすると、設定内容が反映されます。
[キャンセル]ボタンをクリックすると、設定内容を反映せずにメインメニューに戻ります。

◆ 自社設定

設定

自社設定

自社情報

自社名 : らくだ保険 株式会社 [備考]
郵便番号: 160-0004
住所1 : 東京都新宿区西谷4-4-8
住所2 : らくだ第一ビル
電話番号: 03-33***** FAX番号: 03-33*****

コード自動連番

種類	頭文字	連番桁数	次回番号	サンプル
顧客コード	S	5	11900118	
会員コード	S	5	8568095609	
商品コード	RS-	5	11RS-00011	

小数点設定

単価小数点桁数: 0 [▼] 数量小数点桁数: 2 [▼]
小数点端数処理: 四捨五入 切り上げ 切り捨て

ファイル文字コード

vCard : Shift-JIS
iCalendar: UTF-8 TimeZone付加

自社名を入力します。
ここで登録した社名が、社内帳面に記載されます。

OK(○) キャンセル(×)

「自社設定」では、自社情報の設定やコードの自動連番設定、小数点設定等を行います。

項目	説明				
自社情報	自社名	自社名を入力します。ここで入力した社名が、印刷時に記載されます。また[備考]ボタンをクリックすると、自社に対する備考を設定できます。設定した備考は、データファイルの切り替え時にファイルを識別するために表示されます。			
	郵便番号	自社の郵便番号を入力します。			
	住所 1	自社の住所(都道府県・市区町村・番地)を入力します。			
	住所 2	自社のビル名や建物名を入力します。			
	電話番号	自社の電話番号を入力します。			
FAX 番号	自社のFAX番号を入力します。				
コード自動連番	顧客コード、会員コード、商品コードの自動連番設定を行います。[頭文字]、[連番桁数]、[次回番号]を設定すると[サンプル]欄に実際どのように連番が振られるかが表示されます。				
小数点設定	小数点の桁数、および端数処理方法を設定します。				
ファイル文字コード	vCard	顧客情報を vCard 形式のファイルとして出力する際に使用する文字コードを設定します。			
	iCalendar	対応履歴を iCalendar 形式のファイルとして出力する際に使用する文字コードを設定します。			
	TimeZone 付加	iCalendar 形式のファイルを出力する際に、タイムゾーンを指定する場合にチェックを付けます。			

◆ 転送設定

設定

転送設定

転送サーバー: Gmail Yahoo!メール Hotmail その他 既定のメール
送信サーバー(SMTP):
 このサーバーはセキュリティで保護された接続(SSL)が必要
 このサーバーはメール送信規制(POP2S)の対策が行われている
 このサーバーはSMTP認証(SMTP AUTH)が必要
 SMTPユーザーID:
 SMTPパスワード:
 このサーバーは接続する前に受信操作(POP Before SMTP)が必要
 受信サーバー(POP):
 POPユーザーID:
 POPパスワード:
 APOP認証を行う
 送り出し(From)メールアドレス:

詳細設定 送信テスト 送信履歴表示

顧客情報や対応記録をメール転送する際に、任意のメールサーバーを利用します。

OK(○) キャンセル(×)

顧客情報や対応記録を、携帯端末やスマートフォン、タブレットなどに転送して活用するための設定を行います。

項目	説明	
転送サーバー設定	顧客情報や対応履歴を転送するために利用するサービスの一覧が表示されます。利用するサービスを選択し、メールアドレスとパスワードを設定してください。	
	送信テスト	画面上部で設定された転送サーバー設定において、実際に送信が行われるかどうかをテストします。 [送信テスト]ボタンをクリックすると、[テストメールの送信先アドレス]を指定する画面が表示されるので、テストメールの送信先となるメールアドレスを入力します。その後、[送信実行]ボタンをクリックすると、テストメールの送信が実行されます。
	送信履歴表示	これまでのメールの送信履歴を表示します。

「転送サーバー設定」において、[その他]と[既定のメーラー]を選択した場合については、以下の表をご参照ください。

項目	説明	
その他	任意のメールサーバーを利用して転送します。 画面下に表示される、転送に必要なメールサーバーの設定を行ってください。 設定内容の詳細については、ネットワークの管理者、またはお使いのインターネットプロバイダにお尋ねください。	
	送信サーバー(SMTP)	
	送信サーバー名を正確に入力します。サーバー名はプロバイダによって「SMTP」と表記されている場合があります。プロバイダによっては、送信サーバーと受信サーバーが同一の場合があります。そのようなプロバイダをご利用の方は、受信サーバー名を入力してください。	
	このサーバーはセキュリティで保護された接続(SSL)が必要	
	セキュリティで保護された接続(SSL)が必要な場合は、チェックを付けます。	
	このサーバーはメール送信規制(OP25B)の対策が行われている	
	メール送信規制(OP25B)の対策が行われている場合は、チェックを付けます。	
	このサーバーはSMTP認証(SMTP AUTH)が必要	
	SMTP認証(SMTP AUTH)が必要な場合は、チェックを付けます。	
	SMTPユーザーID	SMTP認証のユーザーIDを入力します。ユーザー名は、プロバイダによっては「メールアカウント」「アカウント名」「ID」と表記されている場合があります。
	SMTP パスワード	SMTP認証のパスワードを入力します。
	このサーバーは接続する前に受信操作(POP Before SMTP)が必要	
	接続する前に受信操作(POP Before SMTP)が必要な場合は、チェックを付けます。	
	受信サーバー(POP)	受信サーバー名を入力します。サーバー名は、プロバイダによっては「メールサーバー」「POPサーバー」と表記されている場合があります。
	POPユーザーID	POP認証のユーザーIDを入力します。ユーザー名は、プロバイダによっては「メールアカウント」「アカウント名」と表記されている場合があります。
	POP パスワード	POP認証のパスワードを入力します。

項目	説明		
その他	このサーバーは接続する前に受信操作(POP Before SMTP)が必要	APOP認証を行う	APOP認証を行う場合はチェックを付けます。
	差出人メールアドレス	差出人(From)のメールアドレスを入力します。	
	詳細設定	ポートや文字コードなど、送信に関連したより詳細な設定を行います。通常は設定の変更を行う必要はありません。	
既定のメール	ご利用中のWindowsOSにおいて、既定のプログラムとして設定されているメールを利用して転送します。 ※これから新たに顧客情報の転送機能を利用する場合は、この項目を選択しません。旧バージョンの製品において、顧客情報の転送機能を利用していた方は、この項目を選択することにより、引き続きこれまでと同じ動作をさせることができます。		

◆ 社員情報

設定

- 自社設定
- 転送設定
- 社員情報**
- データファイル
- パスワード
- 全般設定
- 入力設定
- 一覧設定
- 印刷設定
- 印刷調整
- その他の設定
- データ保守
- 登録・サポート

社員登録

社員名	フリガナ
野田 武	ノダ タケシ
小金沢 広	コガネザワ ヒロ
高野 浩二	タカノ コウジ
古河 龍	コガ サトシ
田中 紀子	タナカ ハリコ
吉岡 千鶴	ヨシオカ チホ
佐藤 淳子	サトウ リョウコ
様原 真美	シマハラ ヨシフミ
滝田 仁	タキタ ジン
小倉 由梨	オグチ ユリ
田口 英二	タガチ エイジ

新規 削除 ▲ ▼

顧客登録画面等の「社内担当」に入力するための自社社員を登録します。

OK(○) キャンセル(○)

「社員情報」では、社員情報の新規登録や編集、削除を行います。

項目	説明
社員登録	社員の新規登録や編集、削除を行います。ここで登録された社員が、社内担当者として表示されます。また、この画面に表示されている順番でリストに表示しますので、リストに表示される社員の順番を変更したい場合は、この画面で並べ替えを行います。 [新規]ボタンをクリックするとカーソルが新規行に移動して、新しい社員を登録できます。登録済みの社員を選択して[削除]ボタンをクリックすると、選択した社員を削除できます。[▲]・[▼]ボタンをクリックすると、選択した社員の並び順を上下に移動できます。

◆ データファイル

設定

- 自社設定
- 転送設定
- 社員情報
- データファイル**
- パスワード
- 全般設定
- 入力設定
- 一覧設定
- 印刷設定
- 印刷調整
- その他の設定
- データ保守
- 登録・サポート

データファイル

フォルダ名: C:\Users\user\Documents\BSL_Products\かろがみできる顧客

ファイル名: C:\karo\karo株式会社_0000000000CRD.DAT

データファイル変更

旧バージョンからの移行: 以前のバージョンのデータを、移行します。

データファイルを開く: データファイルを開きます。

データファイルバックアップ

データファイルのバックアップ: データファイルのバックアップを行います。

バックアップファイルの復元: ファイルを復元して、使用できる状態になります。

データファイル操作

データ出力(エクスポート): 顧客・会社情報を外部ファイルへエクスポートします。

データ読み込み(インポート): CSVから顧客・会社・商品情報をインポートします。

現在使用しているデータファイルの保存先フォルダ名です。

OK(○) キャンセル(○)

「データファイル」では、現在使用中のデータファイルの場所の表示や、バックアップと復元、データ出力、データ読み込みなどの操作を行います。

項目	説明
データファイル	[「フォルダーネーム」]には、現在使用しているデータファイルが存在するフォルダーネームが表示されます。 [「ファイル名」]には、現在使用しているデータファイル名が表示されます。全てのデータはこのファイルに随時自動的に保存されます。
データファイル変更	[「旧バージョンからの移行」]では、旧バージョンのデータファイルを移行して使用できる状態にします。 [「データファイルを開く」]では、作成済みの他のデータファイルを開きます。
データファイル バックアップ	[「データファイルのバックアップ」]では、デスクトップなどに現在使用しているデータファイルをバックアップします。 [「バックアップファイルの復元」]では、バックアップしたデータファイルを復元して使用できる状態にします。
データファイル操作	[「データ出力(エクスポート)」]では、入力されているデータを外部ファイルに出力して、表計算ソフトなど他のアプリケーションでデータを扱えるようにします。 [「データ読み込み(インポート)」]では、CSV ファイルで作成された顧客情報や会社情報を読み込んで使用できる状態にします。

◆ パスワード

設定

- 自社設定
- 転送設定
- 社員情報
- データファイル
- パスワード**
- 全般設定
- 入力設定
- 一覧表示
- 印刷設定
- 印刷調整
- その他の設定
- データ保守
- 登録・サポート

データファイルパスワード

現在使用しているデータファイルに、パスワードを設定します。
(パスワードはデータファイルごとに設定します)

今までのパスワード:

新しいパスワード:
パスワードの確認:

* パスワードは、A～Zおよび0～9の半角英数字を入力します。
10文字まで入力できます。
* 新しいパスワードは、確認のため2回入力します。

新しくデータファイル「パスワード」を設定します。
パスワードを解除する場合は、空欄にしておきます。
(入力したパスワードは、安全のため「*」で表示されます)

OK(OK) キャンセル(Cancel)

「パスワード」では、データファイルにパスワードを指定して、パスワードを知っている人以外はデータを使用できないようにできます。

パスワードを設定すると、次回データファイルを開こうとしたときに、パスワードの入力画面が表示されます。



※パスワードを忘れる、データファイルを開くことができません。パスワードの取り扱いには十分ご注意ください。

項目	説明
今までのパスワード	パスワードを変更したり解除したりするには、まず現在設定されているパスワードを入力します。正しいパスワードが入力されると、「新しいパスワード」欄が入力可能になります。(入力したパスワードは、安全のため「*」で表示されます) パスワードが設定されていないときは、この欄は入力できません。
新しいパスワード	新しくパスワードを設定するには、この欄にパスワードを入力します。 パスワードは A～Z、0～9までの半角英数字のみ使用でき、最大 10 文字まで設定できます。(入力したパスワードは安全のため「*」で表示されます) パスワードを解除する場合は、空欄にしておきます。
パスワードの確認	新しいパスワードを、確認のためもう一度入力します。(入力したパスワードは安全のため「*」で表示されます) パスワードを解除する場合は、空欄にしておきます。



パスワードを設定すると、次回本製品を起動する際に、パスワードの入力画面が表示されます。

◆ 全般設定

設定

- 自社設定
- 転送設定
- 社員情報
- データファイル
- パスワード
- 全般設定**
- 入力設定
- 一覧設定
- 印刷設定
- 印刷調整
- その他の設定
- データ保守
- 登録・サポート

全般設定

メインメニュー

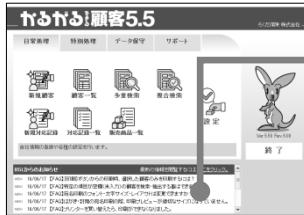
[「お知らせ機能」を使用する]

※「お知らせ機能」を使用するには、コンピュータがインターネットに接続されている必要があります。

メインメニューに「BSLからのお知らせ」を表示するにはチェックをつけてください。
インターネットに接続していない場合は、チェックをはずします。

OK(O) **キャンセル(C)**

「全般設定」では、メインメニューに表示される「お知らせ機能」の設定を行います。



「お知らせ機能」

項目	説明
メインメニュー	[「お知らせ機能」を使用する]にチェックを付けると、メインメニューに「お知らせ機能」を表示します。インターネットに接続している場合、「BSL からのお知らせ」や最新の「よくある質問」を表示します。「BSL からのお知らせ」には、重要な情報や便利な情報、お得な情報などが表示されますので、「お知らせ機能」を表示した状態でご利用になることをお勧めします。

◆ 入力設定

設定

- 自社設定
- 転送設定
- 社員情報
- データファイル
- パスワード
- 全般設定**
- 入力設定
- 一覧設定
- 印刷設定
- 印刷調整
- その他の設定
- データ保守
- 登録・サポート

入力設定

重複チェック

顧客・会社を登録するときに、重複したデータを検索する

顧客登録時:

顧客コード 顧客電話番号 会社コード 会社電話番号
 顧客名 顧客FAX番号 会社名 会社FAX番号

既定値

登録区分の既定値 : **個人** 送付先の既定値 : **会社**
性別の既定値 : **男性** 実施区分の既定値 : **予定**

その他設定

生年月日の表示方式: **2016/04/01** 顧客番号記入欄と会社商品品番並び順: **日付降順**

顧客情報を画像を使用する すべてのファイル形式で画像表示を行う

連携機能

ゼンリン電子地図帳/ソトコネリースを使用する

顧客および会社を登録するときに、既に登録されている顧客および会社に、コード・名称・電話番号・FAX番号が同じものがあるかどうかを検索します。重複したデータが存在する場合は、メッセージが表示されます。

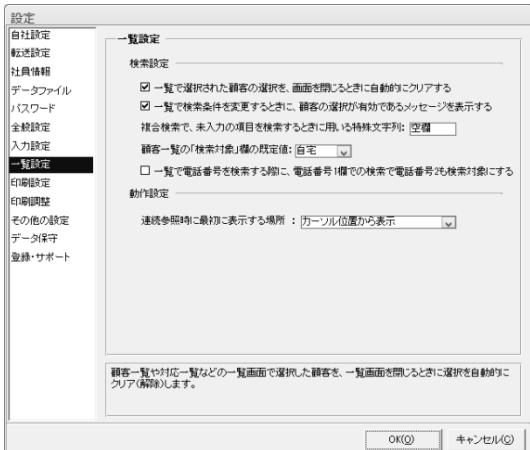
OK(O) **キャンセル(C)**

「入力設定」では、入力動作全般に関する設定を行います。

項目	説明	
重複チェック	[「顧客・会社を登録するときに、重複したデータを検索する」]にチェックを付けると、顧客・会社登録時に、すでに登録されている顧客または会社と重複したデータが存在するかを検索します。	
既定値	登録区分の既定値	新規に顧客を登録する時の登録区分の初期値を設定します。
	送付先の既定値	新規に顧客登録を行う際の送付先の初期値を設定します。
	性別の既定値	新規に顧客を登録する時に表示される性別の初期値を設定します。
	実施区分の既定値	対応記録を作成する際に表示される実施区分の初期値を設定します。

項目	説明	
その他の設定	生年月日の表示方式 顧客毎の対応記録/ 販売商品の並び順	顧客を登録するときに表示される生年月日の表示形式を選択します。 顧客情報の編集画面における、対応記録一覧および販売商品一覧の並び順を指定します。 [顧客情報に画像を使用する]にチェックを付けると、「顧客登録」画面の[基礎情報]タブをクリックしたときに表示される画面に、読み込んだ画像ファイルのプレビューを表示します。 [すべてのファイル形式で画像表示を行う]にチェックを付けておくと、すべての画像ファイルにおいてプレビュー表示を行うように試みます。しかし、特定のファイル形式やお使いのコンピューターの環境によってはプレビューが表示できない場合もあります。
連携機能	[ゼンリン電子地図帳ソフトZシリーズを使用する]	[ゼンリン電子地図帳ソフトZ[ジ]シリーズとの連動が可能になります。(連動させるには、ゼンリン電子地図帳ソフトZ[ジ]シリーズ(Professional3/Z6以降)がインストールされている必要があります)

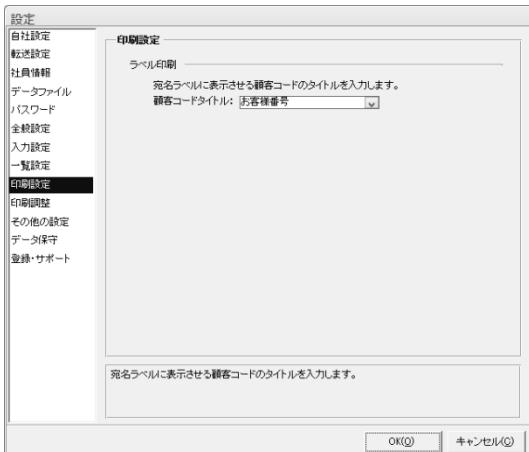
◆ 一覧設定



「一覧設定」では、一覧画面の動作全般に関する設定を行います。

項目	説明	
検索設定	[一覧で選択された顧客を、画面を閉じるときに自動的にクリアする] [一覧で検索条件を変更するときに、顧客の選択が有効であるメッセージを表示する]	「顧客一覧」画面や「対応一覧」画面などで選択状態にある顧客([顧選]欄にチェックが付いている顧客)を、一覧画面を閉じる際に選択状態をクリアし([顧選]欄のチェックを外します)。 [一覧で検索条件を変更するときに、顧客の選択が有効であるメッセージを表示する]にチェックを付けると、「顧客一覧」画面や「対応記録一覧」画面などで検索条件を変更する際に、顧客の選択状態を有効にするか、無効にするかを選択するメッセージを表示します。
複合検索で、未入力の 項目を検索するときに 用いる特殊文字列	複合検索を行う際、各検索用のテキストボックスにここで設定した特定の文字列を入力して検索を行うと、該当項目に何も入力されていない顧客を検索できるようになります。 初期値は「空欄」になっていますので、例えば、[電話番号 1]欄に「空欄」と入力して検索を行うと、顧客基本情報の[電話番号 1]欄に何も登録されていない顧客だけが表示されます。	
顧客一覧の 「検索対象」欄の 既定値		「顧客一覧」画面の[検索対象]欄の既定値を、「自宅」「送付先」「会社」から選択して設定します。([検索対象]欄は、「顧客一覧」画面で[詳細検索条件]ボタンをクリックすると表示されます)
動作設定	連続参照時に最初に 表示する場所	各種一覧から[連続参照]で画面を開いた際に、最初に表示する情報を指定します。 「先頭から表示」を選択すると、常に一覧画面の最初の情報から表示します。 「カーソル位置から表示」を選択すると、一覧の中でカーソルの当たっている行の情報から表示します。

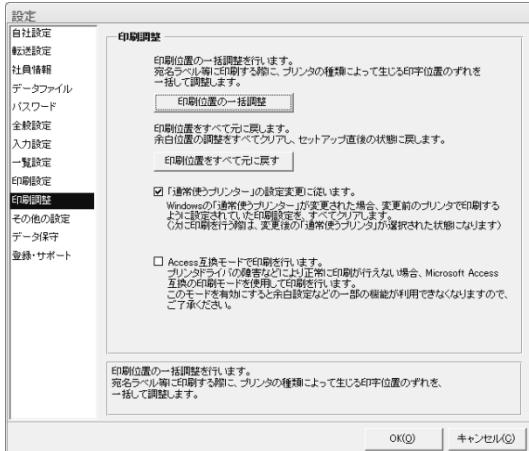
◆ 印刷設定



「印刷設定」では、宛名ラベルの印刷に関する設定を行います。

項目	説明	
ラベル印刷	顧客コードタイトル	宛名ラベルに印刷する顧客コードのタイトルを、「お客様番号」「顧客コード」「登録番号」から選択します。例えば、「お客様番号」を選択すると、顧客コードが12345の顧客の宛名ラベルには「お客様番号12345」と表示されます。

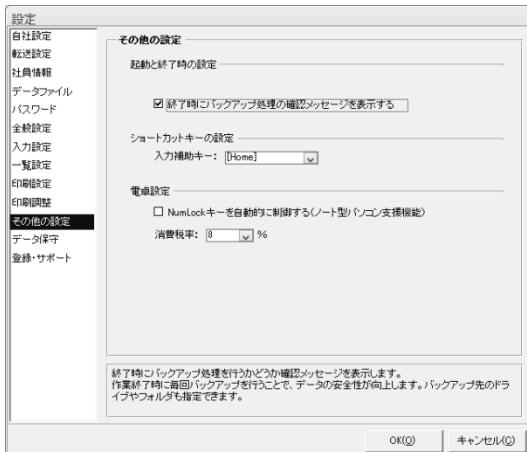
◆ 印刷調整



「印刷調整」では、印刷位置の調整や Access 互換モードでの印刷に関する設定を行います。

項目	説明
印刷調整	[印刷位置の一括調整]ボタンをクリックすると、印刷余白を一括して自動調整します。 [印刷位置をすべて元に戻す]ボタンをクリックすると、これまで設定していた各種用紙の印刷余白の設定をすべて製品の出荷時点に戻します。 [「通常使うプリンター」の設定変更に従います]にチェックを付けると、Windows の「通常使うプリンター」が変更された場合、変更前のプリンターで印刷するように設定されていた印刷設定を、すべてクリアします。(次に印刷を行う場合は、設置後の「通常使うプリンター」が選択された状態になります) [Access 互換モードで印刷を行います]にチェックを付けると、プリンタードライバーの障害などによって正常に印刷が行えない場合に、Microsoft Access 互換の印刷モードを使用して印刷を行います。ただしこのモードを有効にすると余白設定などの一部の機能が利用できなくなります。

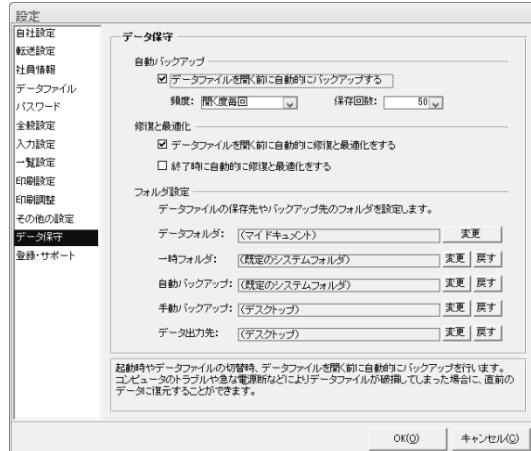
◆ その他の設定



「その他の設定」では、起動と終了時の設定やショートカットキーの設定、電卓の設定を行います。

項目	説明
起動と終了時の設定	[終了時にバックアップ処理を行うかどうか確認メッセージを表示する]にチェックを付けると、本製品の終了時にバックアップ処理に関する確認メッセージを表示します。作業終了時にバックアップを行うことによって、データの安全性が向上します。バックアップ先のドライブやフォルダも指定できます。
ショートカットキーの設定	カレンダー や 電卓など、各種の入力補助機能を呼び出すキーボードの割り当てを変更できます。
電卓設定	[NumLock キーを自動的に制御する]にチェックを付けると、電卓を起動した際に自動的に NumLock を ON にします。電卓を閉じると元の状態に戻します。ノート型パソコンなどでテンキーがメインキーの一部を共有している場合に、電卓使用時にのみ自動的に NumLock を ON にすることで、テンキー入力を行うことができます。 さらに、消費税の税率設定を行います。電卓で[消費税]ボタンを使用する際の消費税率に影響します。

◆ データ保守

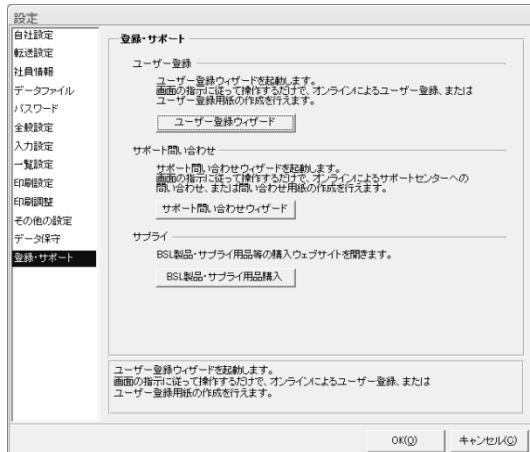


「データ保守」では、データファイルのバックアップや自動バックアップ機能の設定などを行います。

項目	説明
自動バックアップ	[データファイルを開く前に自動的にバックアップする]にチェックを付けると、起動時やデータファイルの切り替え時、データファイルを開く前に自動的にバックアップを行います。コンピューターのトラブルや急な電源断などによりデータファイルが破損してしまった場合に、直前のデータに復元できます。 [頻度]では、[▼]ボタンをクリックして表示されるリストから自動バックアップを行う頻度を選択し、[保存回数]では自動バックアップしたファイルを保存する回数を選択します。
修復と最適化	[データファイルを開く前に自動的に修復と最適化をする]にチェックを付けると、データファイルを開く前にデータの修復と最適化を行います。コンピューターのトラブルや急な電源断などによりデータファイルが破損してしまった場合に、データの修復を試みます。通常はチェックを付けたままにします。 [終了時に自動的に修復と最適化をする]にチェックを付けると、終了時にデータベースの修復と最適化を行います。作業用の一時領域や作業領域を削除し、パフォーマンスを維持します。通常はチェックを付けたままにします。 (最適化とは作業用に使用したハードディスクの領域を開放して、空き容量を回復させる作業です)
フォルダー設定	データファイルの保存場所やバックアップの場所の既定のフォルダーを指定します。(通常は変更しないでください) [変更]ボタンをクリックすると、保存先やバックアップ先のフォルダーを指定できます。データファイルをクラウドストレージ上に保存したい場合は、[データフォルダー]の右にある[変更]ボタンをクリックして、保存先を選択してください。 [戻す]ボタンをクリックすると、初期値に戻ります。

※バックアップについては、58 ページ以降をご覧ください。

◆ 登録・サポート



「登録・サポート」では、各種のユーザーサポートのための機能を呼び出すことができます。

項目	説明
ユーザー登録	[ユーザー登録ウィザード]ボタンをクリックすると、ユーザー登録ウィザードを起動して、ユーザー登録及びユーザー登録情報の変更ができます。
サポート問い合わせ	[サポート問い合わせウィザード]ボタンをクリックすると、ブラウザーを使用して BSL のユーザーサポートウェブサイトを開き、サポートセンターへの問い合わせができます。
サプライ	[BSL 製品・サプライ用品購入]ボタンをクリックすると、ブラウザーを使用して BSL 製品・サプライ用品などの購入ウェブサイトを開き、他の BSL 製品やサプライ用紙の購入などができます。

14 データファイルのバックアップをする

本製品に入力されているデータは、非常に重要な情報です。重要なデータを安全に運用するためにも、データは定期的にバックアップを行い、コンピューターのトラブルなどに備えておくことが大切です。

本製品には、手動のバックアップ機能に加えて自動のバックアップ機能など、データを安全に守るための機能が搭載されています。

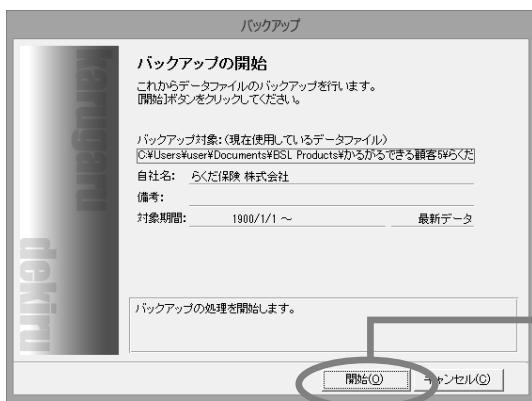
① バックアップ操作の開始



メインメニューの「データ保守」タブ内にある[バックアップ]アイコンをクリックして、バックアップ操作を開始します。

[バックアップ]アイコンを
クリック

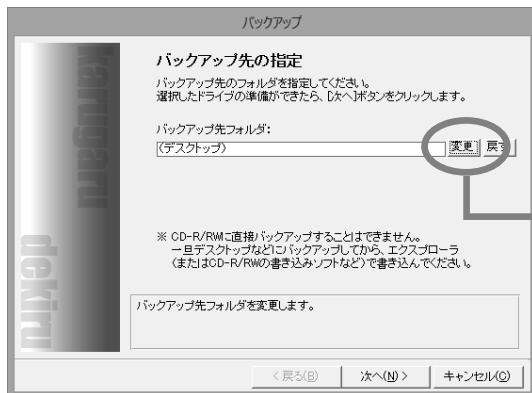
② バックアップの開始



「バックアップの開始」画面が表示されますので、[開始]ボタンをクリックします。

[開始]ボタンをクリック

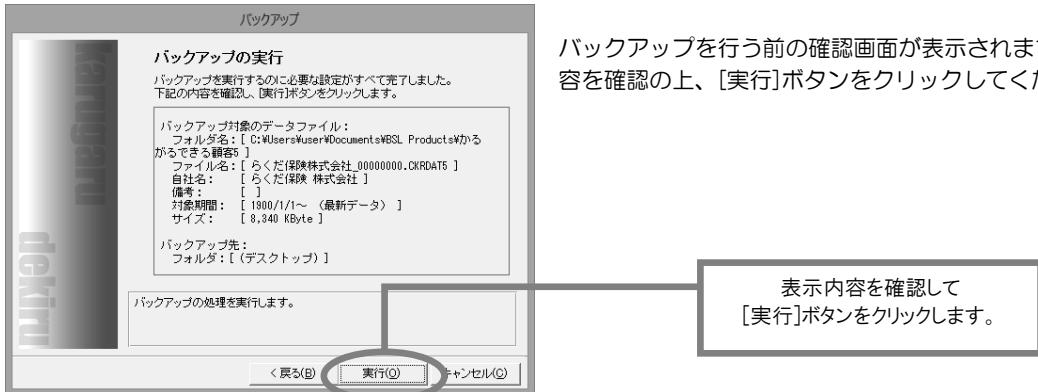
③ バックアップ先の指定



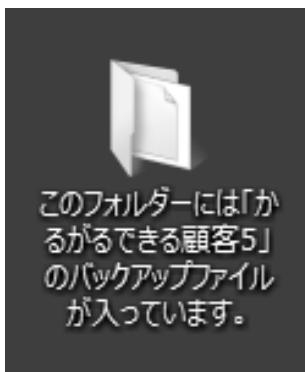
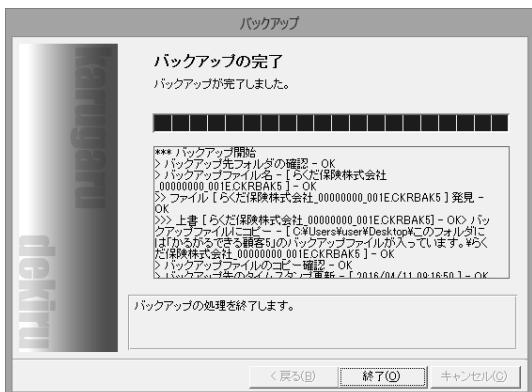
バックアップファイルの保存先を指定します。[変更]ボタンをクリックすると任意のドライブまたはフォルダーに変更できます。(通常の設定ではデスクトップ上にバックアップファイルが作成されます)

[変更]ボタンをクリックすると、バックアップ先のドライブまたはフォルダーを変更できます。

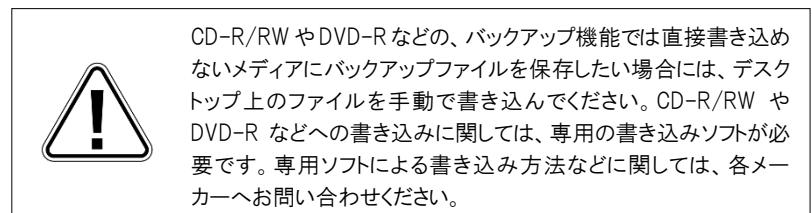
④ バックアップの実行



⑤ バックアップの完了



バックアップファイルの保存先として設定した場所に、バックアップファイルが入ったフォルダーが作成されます。(通常は、デスクトップに作成されます) フォルダーは識別しやすいように、「このフォルダーには「かるがるできる顧客5」のバックアップファイルが入っています。」という名前が付いています。



15 バックアップファイルを復元する

自動バックアップされたファイルや手動バックアップしたバックアップファイルは、復元機能を利用することにより、再び使用できるようになります。（この作業は、データファイルやコンピューターが破損した場合などの非常時に行うもので、日常的に使用するものではありません。誤って復元を行うと、現在のデータが上書きされて失われてしまう場合があります。バックアップファイルの復元の操作は十分に注意して行ってください）

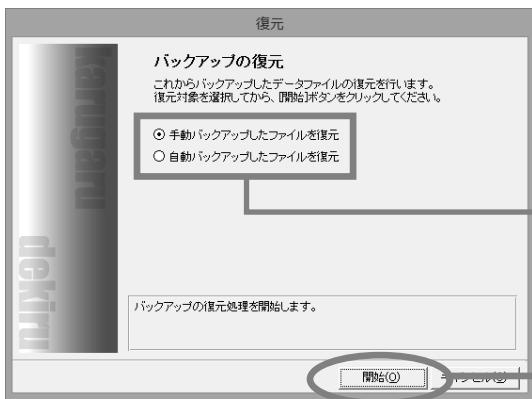
① 復元操作の開始



メインメニューの「データ保守」タブ内にある[復元]アイコンをクリックして、復元操作を開始します。

[復元]アイコンをクリック

② 復元の開始



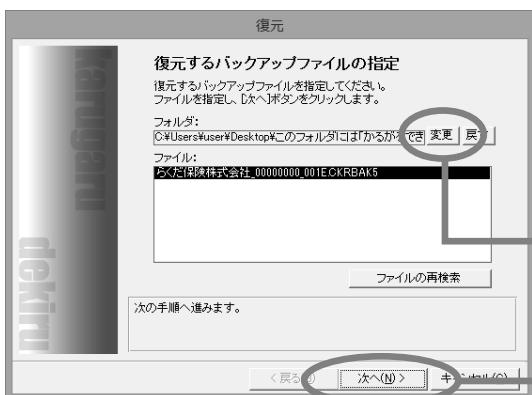
「バックアップの復元」画面が表示されますので、復元したいバックアップファイルの種類を選択してから、[開始]ボタンをクリックします。

復元したいバックアップファイルの種類を選択

[開始]ボタンをクリック

③ 復元するバックアップファイルの指定

■ 手動バックアップしたファイルを復元する場合

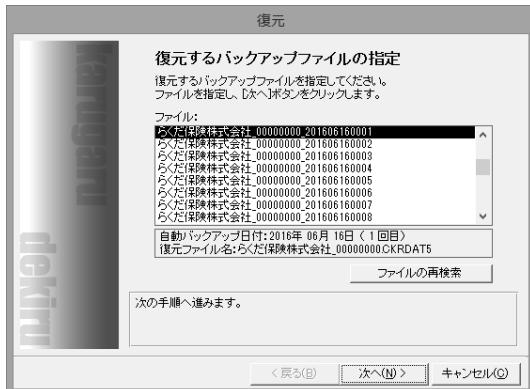


復元可能なバックアップファイルの一覧が表示されるので、復元したいファイルを選択して[次へ]ボタンをクリックします。バックアップファイルの保存されているドライブやフォルダーが異なる場合には[変更]ボタンをクリックして、該当するバックアップファイルを選択します。

復元したい
バックアップファイルを選択

[次へ]ボタンをクリック

■ 自動バックアップしたファイルを復元する場合



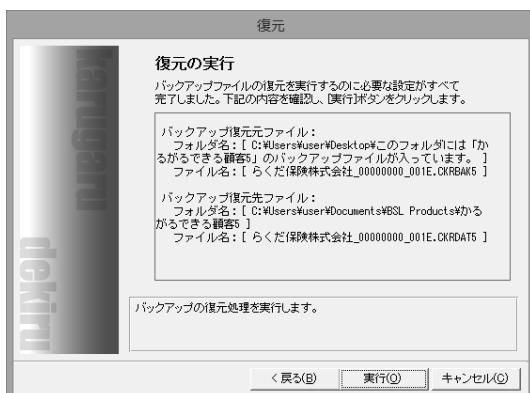
自動的にバックアップされたファイルの一覧が表示されるので、復元したいファイルを選択して[次へ]ボタンをクリックします。

バックアップファイルをクリックして選択すると、自動バックアップされた日付と何回目にバックアップされたファイルなのが表示されるので、どのファイルを復元するかを選択する際の参考にしてください。

自動バックアップファイルは、ファイル名からいつバックアップされたファイルか（日付）と、何回目にバックアップされたファイルかを識別できます。

例えば、ファイル名が「らくだ保険株式会社 00000000_201606160001」と表示されている場合は、「2016年 6月 16日」に自動バックアップされたファイルの「0001」番目ということになります。

④ 復元の実行



復元を行う前の確認画面が表示されます。表示内容を確認の上[実行]ボタンをクリックしてください。

[実行]ボタンをクリックすると復元作業が開始されます。



復元途中で左図のようなメッセージが表示される場合があります。

これは、復元しようとしているデータフォルダー内に、同名のデータファイルが存在している場合に表示される警告メッセージです。現在のデータフォルダー内にあるファイルに上書きして、復元するバックアップファイルと置き換える場合には[はい]ボタンをクリックします。上書きしたくない場合には[いいえ]ボタンをクリックします。上書きを行うと直前まで入力していたデータは消去されるため、元に戻すことができなくなりますのでご注意ください。

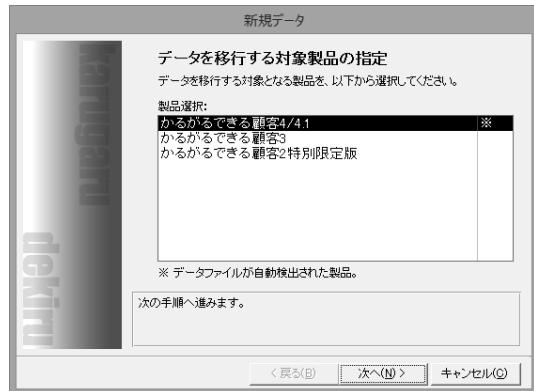
上書きの確認メッセージは 2 回表示されます。表示内容を確認の上、上書きしてよければ[OK]ボタンをクリックしてください。

バックアップからの復元が完了すると、完了のメッセージが表示されます。

16 以前のバージョンからデータを移行する

以前のバージョンの「かるがるできる顧客」シリーズで入力したデータを本製品に移行して使用できる状態にします。以前のバージョンからデータを移行するには、メインメニューの[日常処理]タブ内にある[設定]アイコンをクリックし、[データファイル]内にある[旧バージョンからの移行]ボタンをクリックします。

① データを移行する対象製品の指定

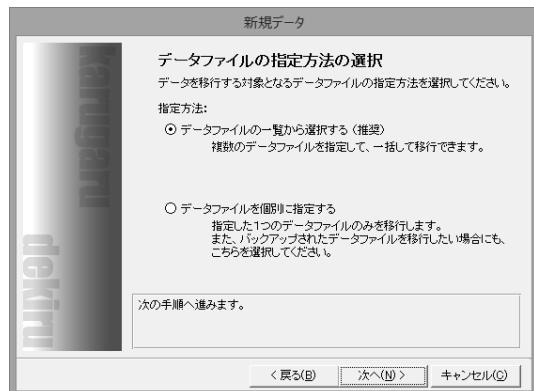


データ移行の対象となる製品を選択します。

データファイルが自動的に検出された製品名の右側に[※]が表示されます。

データを移行したい製品を選択したら、[次へ]ボタンをクリックします。

② データファイルの指定方法の選択



データ移行の対象となるデータファイルの指定方法を選択します。以降は、画面に表示される説明に従って操作してください。

以下の二つの方法で、移行するデータファイルを指定できます。

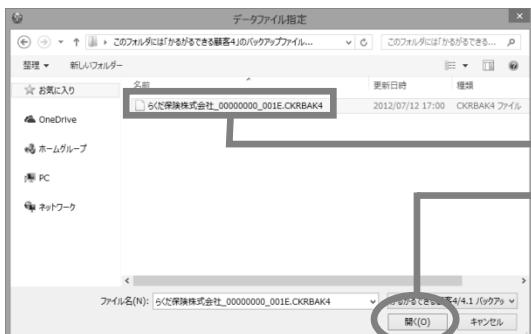
データの指定方法	説明
データファイルの一覧から選択する	データファイルを自動検出した製品(前画面で「※」の付いた製品)のデータを一覧から選択して移行できます。
データファイルを個別に指定する	指定した1つのデータファイルのみを移行できます。また、任意の場所にあるバックアップファイルを指定して移行することも可能です。

Memo

下位製品や以前のバージョンの製品のデータファイルが自動検出された場合は、[データファイルの一覧から選択する]に「(推奨)」と表示します。一方、データファイルが自動検出されなかった場合は、[データファイルを個別に指定する]に「(推奨)」と表示されます。「(推奨)」と表示した項目を選択することをお勧めします。

■ [指定]ボタンをクリックしてデータファイルを指定するには

[データファイルを個別に指定する]を選択した際に、データファイルの場所が表示されていない場合や、他のデータファイルやバックアップファイルからデータを移行したい場合は、[指定]ボタンをクリックして移行データを指定します。



[指定]ボタンをクリックすると、「データファイル指定」画面が表示されます。

移行したいデータをダブルクリックするか、データを選択して[開く]ボタンをクリックします。



[▼]ボタンをクリックして表示されるリストから、ファイルの種類を選択します。

バックアップファイルは、データファイルと拡張子が異なるため、ファイルの種類を指定しないと表示されない場合があります。

移行するファイルの種類を指定する場合は、画面下にある「ファイル名」に表示されるリストから選択してください。

■ 他のコンピューターにあるデータを移行するには

旧製品のデータなどで、他のコンピューターにあるデータを移行するには、USBメモリなどを利用して「かるがるできる顧客5.5」がインストールされているコンピューターに移行したいデータ(データファイルまたはバックアップファイル)を移動させます。その後、上記の手順に従ってデータを移行してください。

③ 設定の移行の選択

これまで使用していたデータの設定項目を、本製品に移行して引き継ぐ場合は、[設定を移行する]にチェックを付けて、[次へ]ボタンをクリックします。

※[設定を移行する]にチェックを付けると、確認メッセージが表示されます。すでに本製品の運用を開始している場合は、作成済みのデータに設定情報が上書きされるため、設定の移行を行わないことをお勧めします。

④ データ移行の実行

最後に、データ移行の実行するための確認画面が表示されます。

内容を確認し、[実行]ボタンをクリックすると、データ移行を開始します。

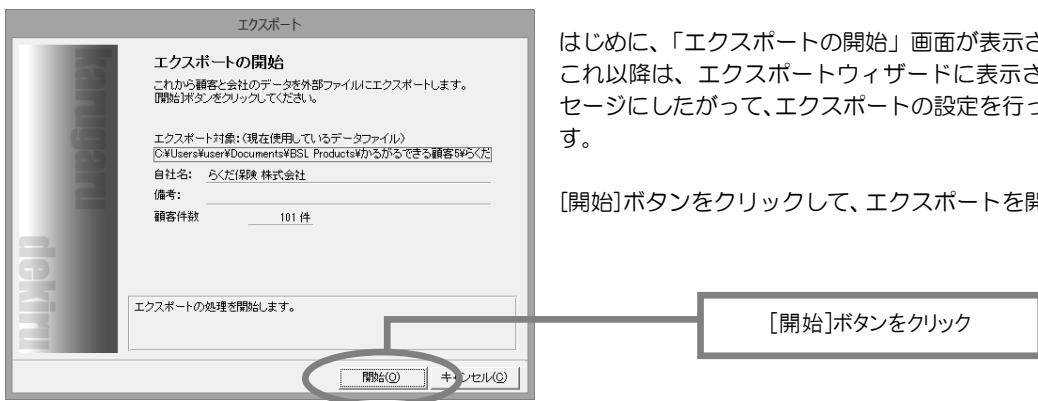
17 データを別ファイルに出力する



データを別ファイルに出力するには、メインメニューの[設定]アイコンをクリックして「設定」画面を表示し、[データファイル]内にある、[データ出力(エクスポート)]ボタンをクリックします。

※データ出力(エクスポート)は、「顧客一覧」画面や「複合検索」画面の下にある[エクスポート]ボタンからも行う事ができます。

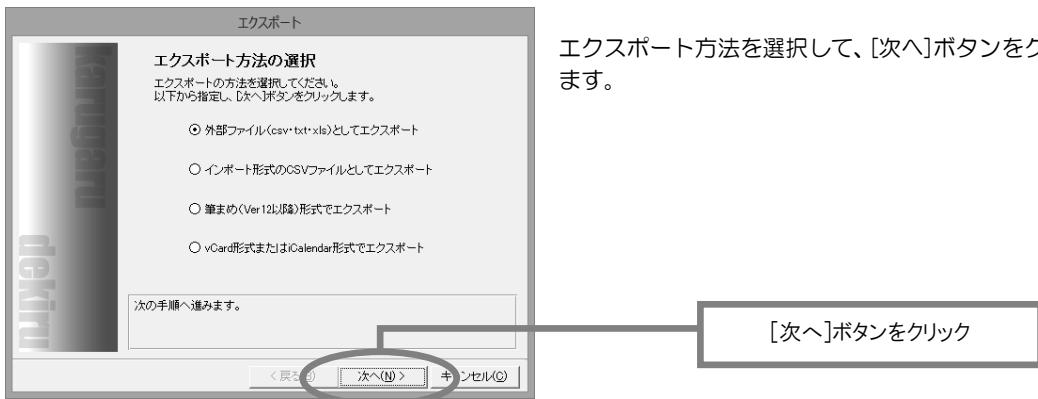
① エクスポートの開始



はじめに、「エクスポートの開始」画面が表示されます。これ以降は、エクスポートウィザードに表示されるメッセージにしたがって、エクスポートの設定を行っていきます。

[開始]ボタンをクリックして、エクスポートを開始します。

② エクスポート方法の選択



エクスポート方法を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

[次へ]ボタンをクリック

エクスポート方法の詳細は以下の通りです。

エクスポート方法	説明
外部ファイル(csv・txt・xls)として エクスポート (65 ページ参照)	顧客の基礎情報と会社マスタ、商品マスタを CSV 形式、テキスト形式、Excel 形式でエクスポートします。顧客の基礎情報には、顧客の会社情報や対応記録、販売商品の情報を合わせてエクスポートすることも可能です。Excel 等の他のソフトウェアで顧客データを活用したい場合等に選択します。
インポート形式の CSV ファイルとして エクスポート (66 ページ参照)	「かるがるできる顧客」や「顧客らぐだ」でそのままインポート可能なデータを CSV 形式でエクスポートします。他の「かるがるできる顧客」や「顧客らぐだ」にデータを移したい場合や、エクスポートしたデータをまとめて編集して再度「顧客らぐだ」にインポートしなおしたい場合等に選択します。
筆まめ(Ver12 以降)形式で エクスポート (67 ページ参照)	筆まめ(Ver12 以降)にインポートして利用できる形式で顧客データをエクスポートします。本製品に入力されているデータを筆まめ(Ver12 以降)で活用したい場合に選択します。
vCard 形式または iCalendar 形式で エクスポート (67 ページ参照)	会社情報や自宅情報を vCard 形式で、また対応記録を iCalendar 形式でエクスポートします。vCard 形式でエクスポートしたものを、ご利用の携帯電話やメールソフトに取り込んで活用できます。また iCalendar 形式でエクスポートしたものを、ご利用のスケジュール管理ソフトに取り込んで活用できます。

■ 「外部ファイル(csv・txt・xls)としてエクスポート」を選択した場合

The screenshot shows the 'Export' dialog box. In the center, there's a list titled 'Export items' with several options: 'Customer basic information', 'Company master', and 'Product master'. To the right of this list, there's a detailed section titled 'Customer basic information export' with checkboxes for 'Delivery address' (checked), 'Company information (other)' (unchecked), 'Notes' (checked), and 'Attachments' (unchecked). Below this section, there are two more options: 'Response record export' and 'Product export'. At the bottom of the dialog, there's a note 'Please proceed to the next step.' and three buttons: 'Back' (戻る), 'Next' (次へ), and 'Cancel' (キャンセル).

エクスポートしたい項目を選択して、[次へ]ボタンをクリックします。

[顧客基礎情報]を選択した場合にのみ、[顧客・会社情報をエクスポート]や[対応記録をエクスポート]、[販売商品をエクスポート]を組み合わせて選択できます。その際、組み合わせて選択できる項目は、いずれか 1 つの項目のみとなります。

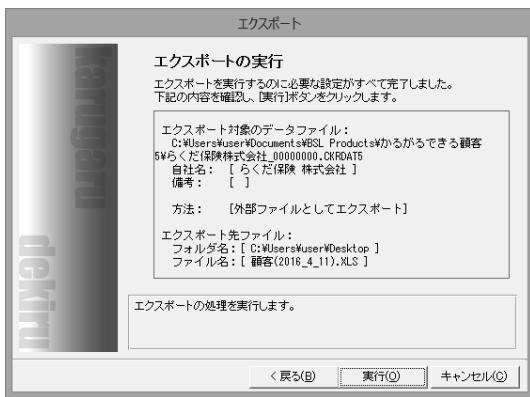
The screenshot shows the 'Export' dialog box. It has a title 'Export destination selection' and a note 'Please select the output location for the export file.' Below this, there are three input fields: 'Folder' (set to 'Desktop'), 'File name' (set to '顧客(2016.4.11)'), and 'Format' (set to 'Microsoft Excel format (*.XLS)'). The 'Format' dropdown also lists 'CSV format (*.CSV)' and 'Tab-separated text format (*.TXT)'. At the bottom, there's a note 'Please proceed to the next step.' and three buttons: 'Back' (戻る), 'Next' (次へ), and 'Cancel' (キャンセル).

次に、エクスポート先のフォルダーを選択します。初期状態ではデスクトップになっていますが、[変更]ボタンをクリックして任意の場所に変更できます。

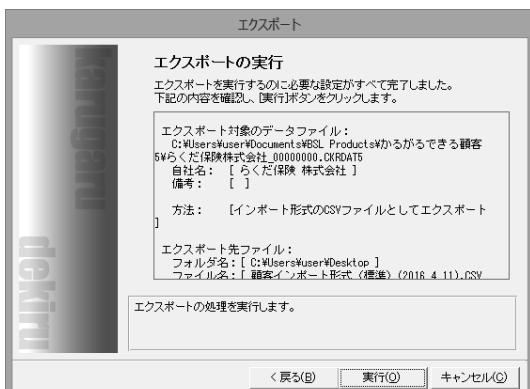
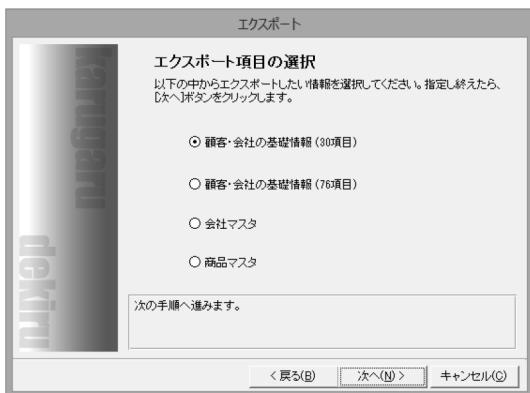
[ファイル名]欄では、エクスポートするファイルの名前を必要に応じて変更します。

[形式]欄で、出力形式 (XLS・CSV・TXT) の選択を行います。

設定が完了したら、[次へ]ボタンをクリックします。



■ 「インポート形式の CSV ファイルとしてエクスポート」を選択した場合



最後に、エクスポートの内容が正しく設定されているかどうかを画面で確認します。

正しく設定されていれば、[実行]ボタンをクリックしてエクスポートを実行します。

エクスポートしたい項目を選択します。

[顧客・会社の基礎情報 (30 項目)]は、顧客と会社の基本的な情報 (住所、TEL、FAX 等) のみを含むのに対し、[顧客・会社の基礎情報 (76 項目)]は、顧客と会社の基本的な情報と詳細な情報 (誕生日、役職、業種、資本金等) をすべて含みます。

エクスポートしたい項目を選択したら[次へ]ボタンをクリックします。

次に、エクスポート先のフォルダーを選択します。初期状態ではデスクトップになっていますが、[変更]ボタンをクリックして任意の場所に変更できます。

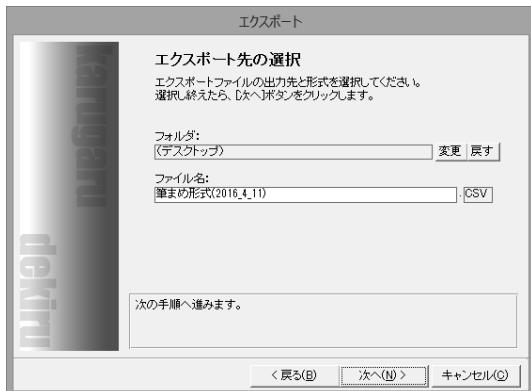
[ファイル名]欄では、エクスポートするファイルの名前を必要に応じて変更します。

設定が完了したら[次へ]ボタンをクリックします。

最後に、エクスポートの内容が正しく設定されているかどうかを画面で確認します。

正しく設定されていれば、[実行]ボタンをクリックしてエクスポートを実行します。

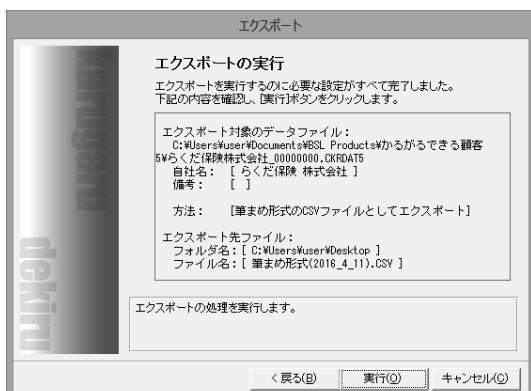
■ 「筆まめ(Ver12 以降)形式でエクスポート」を選択した場合



エクスポート先のフォルダーを選択します。初期状態ではデスクトップになっていますが、[変更]ボタンをクリックして任意の場所に変更できます。

[ファイル名]欄では、エクスポートするファイルの名前を必要に応じて変更します。

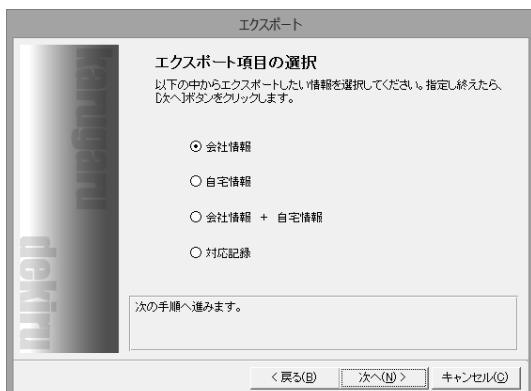
設定が完了したら[次へ]ボタンをクリックします。



最後に、エクスポートの内容が正しく設定されているかどうかを画面で確認します。

正しく設定されていれば、[実行]ボタンをクリックしてエクスポートを実行します。

■ 「vCard 形式または iCalendar 形式でエクスポート」を選択した場合



エクスポートしたい項目を選択します。

[会社情報]と[自宅情報]を選択すると、必ず vCard 形式（拡張子：VCF）でのエクスポートになります。

[対応記録]を選択すると、必ず iCalendar 形式（拡張子：ICS）でのエクスポートになります。

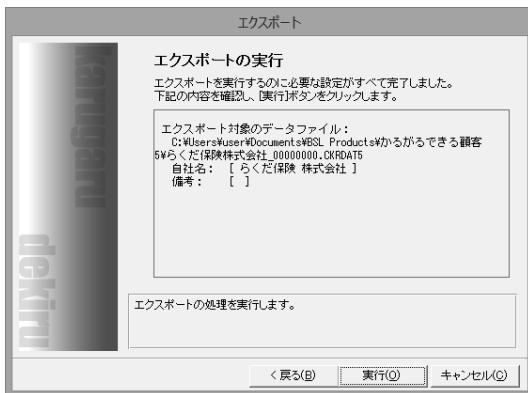
エクスポートしたい項目を選択したら[次へ]ボタンをクリックします。



エクスポート先のフォルダーを選択します。初期状態ではデスクトップになっていますが、[変更]ボタンをクリックして任意の場所に変更できます。

[ファイル名]欄では、エクスポートするファイルの名前を必要に応じて変更します。

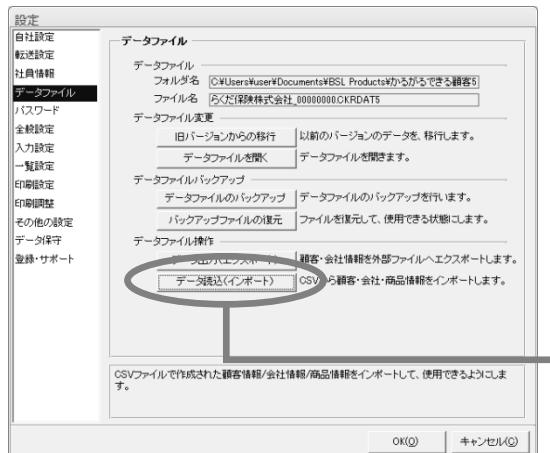
設定が完了したら[次へ]ボタンをクリックします。



最後に、エクスポートの内容が正しく設定されているかどうかを画面で確認します。

正しく設定されていれば、[実行]ボタンをクリックしてエクスポートを実行します。

18 外部ファイルのデータを読み込む



外部ファイルのデータを読み込むには、メインメニューの[設定]アイコンをクリックして「設定」画面を表示し、[データファイル]内にある[データ読み込み（インポート）]ボタンをクリックします。

※CSV 形式の外部ファイルのインポートに対応します。
また顧客情報・会社マスター・商品マスターの内容をインポートすることが可能ですが、対応記録や販売商品をインポートすることはできません。

[データ読み込み（インポート）]
ボタンをクリック

① インポートの開始



はじめに「インポートの開始」画面が表示されます。これ以降に表示される画面のメッセージに従って、インポートの設定を行っていきます。

インポートの設定を開始するには、[開始]ボタンをクリックします。

② インポートファイルの選択



インポートを行うファイルを選択します。[指定]ボタンをクリックしてファイルを指定します。

[指定]ボタンをクリックして
ファイルを指定

インポートする CSV ファイルを指定したら、[次へ]ボタンをクリックします。

③ インポート内容の選択

CSVインポート

インポート内容の選択

インポートファイルに含まれている内容を選択してください。
以下から選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

顧客・会社の基礎情報

会社マスタ

商品マスタ

次の手順へ進みます。

<戻る(B) 次へ(N) キャンセル(C)

インポートファイルに含まれている情報から、インポート内容を選択します。

インポート内容を選択したら、[次へ]ボタンをクリックします。

④ 項目の割り付け

CSVインポート

項目の割り付け

インポート先の項目名に対して、割り付けた項目名を選擇してください。

取り込み先項目	割り付け列名	割り付けデータ
登録区分	登録区分	2
顧客コード	顧客番号	12
氏名	氏名	香木 由利
氏名フリガナ	氏名フリガナ	アキ ユリ
姓称		
郵便番号	自宅郵便番号	7600018
都道府県	自宅都道府県	香川県
(住所1)	自宅住所1	高松市天神町*****
(住所2)	自宅住所2	
電話番号1	自宅電話番号1	087-*****
電話番号2	自宅電話番号2	
FAX番号	FAX番号	
携帯電話番号	携帯電話番号	090-*****
メール(1)	Email1	us*****@*****.jp
メール(2)		

参照レコード: < / 101 > 未割り付け列数: 0

<戻る(B) 次へ(N) キャンセル(C)

CSV ファイルをインポートする際に、取り込み元 (CSV ファイル側) のフィールドを、取り込み先 (製品側) のどの項目に対してインポートするのかを割り付けます。

フィールドの割り付けが完了したら、[次へ] ボタンをクリックします。

項目	説明
取り込み先項目	取り込み先 (製品側) の項目名です。
割り付けフィールド	取り込み元 (CSV ファイル側) の 1 行目のフィールド名が表示されます。右の [▼] ボタンをクリックすると、対応するフィールドを任意に変更できます。
重複	「会社マスタ」と「商品マスタ」をインポートする場合に表示されます。 チェックを付けると、チェックを付けた項目で重複チェックを行い、重複したデータがあった場合はインポートを行いません。
割り付けデータ	「割り付けフィールド」内の実際のデータが表示されます。対応する取り込み先項目を選択する際の目安として利用できます。
未割り付けフィールド数	取り込み先 (製品側) への割り付けが完了していないフィールドの数が表示されます。
参照レコード	CSV ファイルに含まれる顧客データの数と、現在「割り付けデータ」に表示されている顧客の番号が表示されます。左右の矢印 ([←][→]) ボタンをクリックすると、前後の顧客データに移動できます。



「割り付けフィールド」には、CSV ファイルの 1 行目のデータが表示されます。そのため、インポートする CSV ファイルの 1 行目は「割り付けフィールド」名にしておく必要があります。なお、1 行目はデータとして取り込まれません。

Memo

「登録区分」「送付先」「性別」の各項目に割り付けデータが存在しない場合は、既定値が自動的に登録されます。既定値は「設定」画面から設定可能です。設定方法については、53 ページの「入力設定」をご覧ください。

⑤ 同一情報の条件

CSVインポート

インポート内容の選択
インポートファイルに含まれている内容を選択してください。
以下から選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

顧客・会社の基礎情報
 会社マスタ
 商品マスタ

次の手順へ進みます。

＜戻る(B) 次へ(N) キャンセル(C)

重複した情報をインポートしないために、画面に表示されている項目にチェックを付けると、一致した情報が存在した場合に新規登録しません。

条件を設定したら、[次へ]ボタンをクリックします。

Memo

CSVインポート

重複データの取り扱い方法の選択

重複チェックの対象となる割り付け項目のデータが、インポート先の取り込み項目の値として既に存在する場合の処理について選択します。
以下から選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

重複をチェックする列名:
「会社コード」、「会社名稱」

すべての行を取り込む。

ただし、上記の項目のうち一つでも値が重複した行は、取り込まない。

ただし、上記すべての項目の値が重複した行は、取り込まない。

上記のすべての項目の値が重複した行は、上書き取り込む。

次の手順へ進みます。

＜戻る(B) 次へ(N) キャンセル(C)

「3.インポート内容の選択」で[会社マスタ]および[商品マスタ]を選択した場合で、重複のチェックを有効にしている場合は、「重複データの取り扱い方法の選択」画面が表示されます。

重複データの取り扱い方法を選択したら、[次へ]ボタンをクリックします。

⑥ 読込の設定

CSVインポート

読み込みの設定
インポートに関する読み込みの設定を行ってください。
設定し終えたら、[次へ]ボタンをクリックします。

顧客の同一情報が見つかった場合、上書きする

会社の同一情報が見つかった場合、上書きする

次の手順へ進みます。

＜戻る(B) 次へ(N) キャンセル(C)

同一の会社情報や顧客情報が見つかった場合の動作に関する設定を行います。

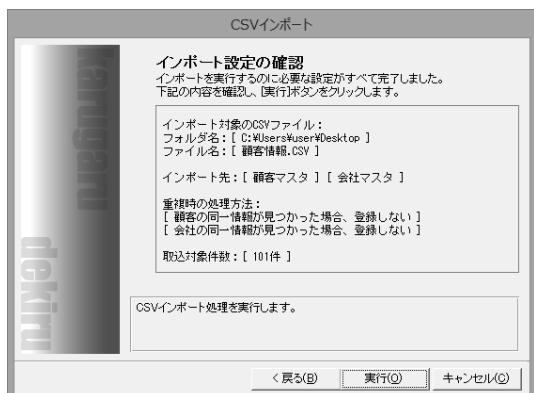
重複する情報で上書きする場合は、画面に表示されている項目にチェックを付けます。

設定が完了したら、[次へ]ボタンをクリックします。

Memo

この画面は、前の「5.同一情報の条件」で、何にもチェックを付けなかった場合には表示されません。また「3.インポート内容の選択」で[会社マスタ]あるいは[商品マスタ]を選択した場合にも表示されません。

⑦ インポートの実行



インポートの内容が正しいことを確認し、[実行]ボタンをクリックするとインポートを開始します。

[実行]ボタンをクリックすると、バックアップの確認画面が表示されます。インポート前にデータのバックアップを行うことをお勧めいたします。

Memo



インポート実行中に、右下に[途中終了]ボタンが表示されます。

[途中終了]ボタンをクリックすると、インポートが終了されますが、その時点までのデータはインポートされます。



インポートが完了すると、画面下に[ログ出力]ボタンが表示されます。[ログ出力]ボタンをクリックすると、インポートした CSV ファイルと同じ場所にインポートログを CSV 形式で出力します。

[ログ出力]ボタンをクリックすると、インポートログを CSV 形式で出力します。インポートファイルの読み込み状況を一覧で確認できます。

19 サポートサービスを利用する

◆ 無期限・無料サポートについて

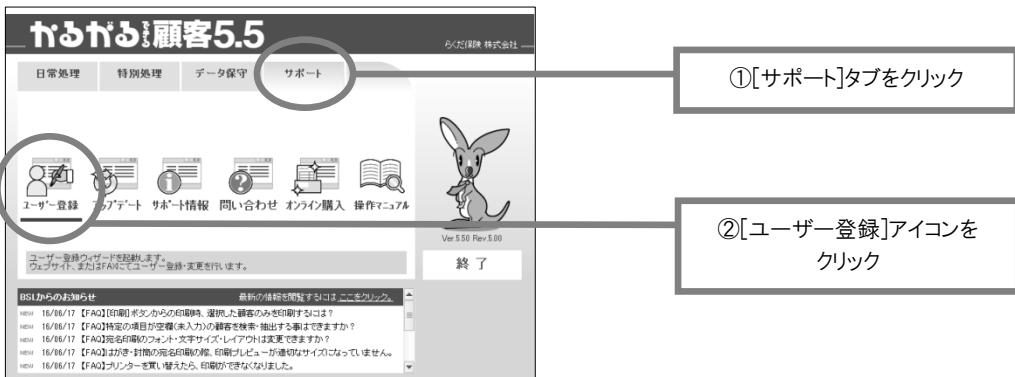
本製品のユーザー登録をいただきましたお客様へ、弊社サポートセンターへの電話・FAX・Eメールによるお問い合わせを無期限・無料で承ります。お問い合わせに対して回答をご案内する際に要する費用は無料で対応いたします。ただし、電話料金などの通信費用はお客様のご負担となります。

弊社サポートセンターは、本製品の操作方法に関するお問い合わせのみを受け付けております。コンピューター本体や周辺機器などに関しては各製品のメーカーへご相談ください。また会計処理や税務処理、社会保険処理などに関するご質問は受け付けておりませんので、ご依頼の税理士・社会保険労務士や最寄の税務署・年金事務所などの各専門機関へご相談ください。

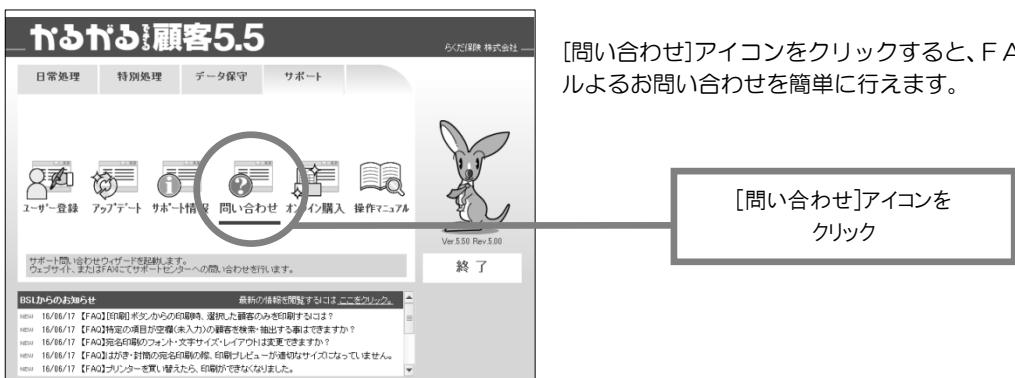
本製品は、ご利用のコンピューター本体およびOSなどの他社製品によって影響を受けない範囲において、サポートサービスの期間に制限はありません。ただし、ソフトウェアやハードウェアの環境の変遷などの弊社の責によらない事由によって、事実上適切なサポートサービスが提供できないと弊社が判断した場合、もしくは製品機能に関する法律の改正やその他の外的要因により、製品をご購入時のまま利用することが事実上不可能となった場合には、サポートサービスを終了させていただくことがあります。

■ サポートサービスを利用するには

サポートサービスをご利用になるには、はじめに無料のユーザー登録を行っていただく必要があります。登録は[ユーザー登録]アイコンから簡単に行えます。一度ユーザー登録を行えば、次から登録作業をする必要はありません。



本製品のユーザー登録をいただきましたお客様へ、弊社サポートセンターへの電話・FAX・Eメールによるお問い合わせを、無期限・無料で承ります。(お問い合わせに対して回答をご案内する際に要する費用は無料で対応いたしますが、お問い合わせに係る電話料金等の通信費用はお客様のご負担となります)



[問い合わせ]アイコンをクリックすると、FAXやEメールによるお問い合わせを簡単に行えます。

[問い合わせ]アイコンを
クリック



[アップデート]アイコンをクリックすると、更新プログラムの確認とダウンロードができます。

[アップデート]アイコンを
クリック

■ 電話問い合わせ

専門スタッフが無期限・無料で電話対応いたします。

サポートセンター電話番号：03-3352-6241

受付時間：月曜日～金曜日 10:00～12:00, 13:30～16:30
(土曜、日曜、祝日、および弊社休業日を除く)

■ FAX問い合わせ

早朝や深夜、土・日・祝祭日でも、FAXでのお問い合わせを年中無休で24時間受け付けております。回答は翌営業日以内にご案内いたします。

サポートセンターFAX番号：03-5362-7860

郵送の場合：〒160-0004 東京都新宿区四谷4-11 日新ビル

株式会社B S Lシステム研究所 サポートセンター

■ Eメール問い合わせ

手軽で敏速に問い合わせたい方は、Eメールによるお問い合わせをご利用いただけます。弊社のウェブサイトから入力フォーム形式で年中無休、24時間お問い合わせを受け付けております。回答は翌営業日以内にご案内いたします。Eメールでのお問い合わせの場合は、折り返し弊社からのご案内もメールで返信いたしますので、操作資料として保存してご活用いただけます。

◆ 挫折買取サービスについて

本製品は、弊社のサポートサービスをお受けいただいた上でも操作面で挫折され運用できなかった場合、製品のご購入日より1年以内に限り、お客様からの挫折情報の買取サービスを行います。弊社のサポートをお受けいただいたにもかかわらず、操作困難のため運用が不可能と弊社サポートセンターで判断させていただいた場合、弊社からお送りする「挫折内容連絡書」にご記入の上、ご購入の証明書類（領収証など）のコピーおよび製品パッケージ内容一式を、弊社までお送りいただきます。（販売店では受け付けておりません）

その連絡書から得られた情報は、弊社がさらに挫折しないソフトを開発するまでの貴重な参考資料とさせていただくと共に、お客様には情報提供感謝料として当該製品のご購入時の金額をお支払いいたします。（ご購入時に当該製品に対して実際お支払いいただいた金額から、消費税および支払手数料を引いた金額をお支払いいたします）

なお本サービスの適用は、ソフトウェアの操作面で挫折され本製品の提供する機能を利用できず、運用できなかった場合に限ります。お客様の期待した機能の不足や製品への不満足、お客様の希望する業務手順との不適合、経理・簿記などの業務知識の不足による運用困難、コンピューター本体や周辺機器との不適合による運用困難の場合、およびお客様のご都合による運用中止や返品は、対象外とさせていただきます。



3つの信頼 BSL の「安心保証」

弊社では「使いこなせる業務ソフト」をキャッチフレーズに、初めて業務ソフトをご利用になるお客様でも確実に使いこなしていただけるよう、さまざまなサポートサービスをご用意しております。

①「無期限・無料サポート」で気軽に問い合わせ!!

操作上の疑問があるときには、電話・FAX・Eメールでいつでもお気軽にお問い合わせ下さい。

専門スタッフが、分かりやすく丁寧にご説明いたします。いつでも何度でもお問い合わせいただけます。

②「挫折買取サービス」で使いこなせるお約束!!

弊社では「挫折撲滅!!」を目標として掲げ、どなたにも確実に使いこなしていただけるよう努めております。もしサポートサービスをお受け頂いたにもかかわらず操作面で挫折され、運用困難と弊社にて判断した場合、買取サービスをいたします。

③「災害支援サービス」でもしもの時にも安心!!

万が一、火災や自然災害に遭ってしまったなら、そんな時もお客様の事業継続を支援いたします。

被災した場合に、製品のCD-ROMやマニュアルなど、運用に必要な媒体を無償でご提供いたします。

①無期限・無料サポートサービスについて

弊社製品のユーザー登録を頂きましたお客様へ、弊社サポートセンターへの電話・FAX・Eメールによるお問い合わせを、無期限・無料で承ります。お問い合わせに対して回答をご案内する際に要する費用は無料で対応いたしますが、お問い合わせに係る電話料金等の通信費用はお客様のご負担となります。

弊社サポートセンターは製品の操作方法に関するお問い合わせのみを受け付けております。コンピュータ本体や周辺機器等に関しては各製品のメーカーへご相談下さい。また会計処理や税務処理、社会保険処理等に関するご質問は受け付けておりませんので、ご依頼の税理士・社会保険労務士や最寄りの税務署・年金事務所などの各専門機関へご相談下さい。

弊社製品は、ご利用のコンピュータ本体およびOS等の他社製品によって影響を受けない範囲において、サポートサービスの期間に制限はありません。但しソフトウェアやハードウェア環境の変遷などの弊社の責によらない事由によって、事実上適切なサポートサービスが提供できないと弊社が判断した場合、もしくは製品機能に関連する法律の改正やその他の外的要因により、製品をご購入時のまま利用することが事実上不可能となった場合には、サポートサービスを終了させていただくことがあります。

②挫折買取サービスについて

弊社製品は、弊社のサポートサービスをお受け頂いた上でも操作面で挫折され運用できなかった場合、製品のご購入日より1年以内に限り、お客様からの挫折情報の買取サービスを行います。

弊社のサポートをお受け頂いたにもかかわらず、操作困難のため運用が不可能と弊社サポートセンターで判断させていただいた場合、弊社からお送りする「挫折内容連絡書」にご記入のうえ、ご購入の証明書類(領収証等)のコピーおよび製品パッケージ内容一式を、弊社までお送りいただきます。(販売店では受け付けておりません)その連絡書から得られた情報は、弊社がさらに挫折しないソフトを開発するまでの貴重な参考資料とさせていただくと共に、お客様へは情報提供感謝料として当該製品のご購入時の金額をお支払いいたします。(ご購入時に当該製品に対して実際に支払い頂いた金額から、支払手数料を引いた金額をお支払いいたします)

なお本サービスの適用は、ソフトウェアの操作面で挫折され本製品の提供する機能を利用できず、運用できなかった場合に限ります。お客様の期待した機能の不足や製品への不満足、お客様の希望する業務手順との不適合、経理・簿記等の業務知識の不足による運用困難、コンピュータ本体や周辺機器との不適合による運用困難の場合、およびお客様のご都合による運用中止や返品は、対象外とさせていただきます。

③災害支援サービスについて

弊社製品のユーザー登録を頂きましたお客様へ、地震・風水害等の自然災害や火災による罹災・盗難被害(以下「被災」)により製品が使用不能となった場合に、製品の媒体を無償でご提供いたします。

本サービスを依頼されるお客様は、被災した日より3ヶ月以内に弊社までご連絡いただき、「罹災証明書」「盗難届受理証明書」等をご提示ください。被災状況の確認後、必要な媒体をご指定の住所へ無償でお送りいたします。

本サービスは、ご使用の製品の発売期間中、および弊社規定による媒体保有期間中に限ります。媒体保有期間の終了後については、後継製品が発売されている場合は、ご希望により後継製品を無償でご提供いたします。本サービスによる対応は、使用不能となった製品の媒体(CD-ROM、マニュアル)の提供に限ります。コンピュータ本体や周辺機器等の復旧、データの復旧、サプライ用品等については対象外です。

本サービスの適用は、ユーザー登録の登録住所地において、登録者本人が被災された場合に限ります。被災時点でユーザー登録が行われていない場合、登録住所地以外で被災した場合、紛失、破損、破棄などの理由により使用不能となった場合、等については対象外とさせていただきます。

かるがるできる顧客5.5 操作マニュアル

MNL160616N-CK5.5

発行:株式会社BSLシステム研究所

〒160-0004 東京都新宿区四谷 4-11 日新ビル

Microsoft, MS, Windows, Microsoft Access は米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

その他、本書に掲載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

本書の著作権は、株式会社BSLシステム研究所にあります。

本書は著作権法によって、著作権等の権利が保護されている著作物です。

本書の全部または一部を、無断で転載、複写機などによる複写複製、電子装置へ入力することは禁止されています。

記載されている製品画像および内容の一部には開発段階のものが含まれています。

本書の内容と製品の仕様が異なる場合には、製品の仕様が優先されます。

サンプルとして記載されているデータはすべて架空のものです。

かるがるできる顧客5.5 シリアルナンバー



この番号は製品を使用する際に必要です。また、ユーザー登録や
サポートサービスにも必要となりますので大切に保管してください。
シリアルナンバーの再発行は有料となります。

BSLユーザーサポートセンター

TEL : 03-3352-6241
FAX : 03-5362-7860
URL : www.bsl-jp.com
E-mail : karugaru@bsl-jp.com

月曜日～金曜日
10:00～12:00 / 13:30～16:30
土・日・祝祭日を除く
(FAX・E-mailは翌営業日以内に回答を
ご案内いたします)

※サポートセンターではソフトの操作方法に関するお問い合わせのみを受け付けております。会計処理や税務処理、社会保険処理等に関する
ご質問は、ご依頼の税理士・社会保険労務士や最寄りの税務署・年金事務所などの各専門機関へご相談下さい。

